リアルリンクツール リアルタイムモニタ WRS-MONH V12.00 取扱説明書

必ず「本製品をお使いの前に」をお読みください

2022年07月20日

watanabe

渡辺電機工業株式会社

IM0216-10

リアルタイムモニタをお使いの前に



インストール前に「ユーザーアカウント制御 (UAC)の設定を行います。

「コントロールパネル」を開き「システムとセキュリティ」をクリックします。



「ユーザーアカウント制御設定の変更」をクリックします。



「コンピューターに対する変更の通知を受け取るタイミングの選択」 を通知しないにスライドして「OK」をクリックします。

😚 ユーザー アカウント制御の設定		
コンピューターに対する ユーザー アカウント制 の防止に役立ちます。 ユーザー アカウント制 常に通知する	9変更の通知を受け取るタイミングの選択 即を使用すると、問題を起こす可能性があるプログラムからのコンピューク <u>即設定の詳細を表示</u>	>の変更
- [-	以下の場合でも通知しない:	
	 フロックスパックトウェアダインストールしょうとする場合、またはコンピューターに変更を加えようとする場合 ユーザーが Windows 設定を変更する場合 	Ξ
	 ・ 推奨されません。ユーザー アカウント制御でサポー トされない、Windows 7 用に保証されていないプ ログラムを使用する場合にのみ選択してください。 	
通知しない		
	<u> </u>	*

「はい」をクリックします。

😗 ユーザー アカウント制御
⑦ 次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?
 プログラム名: UserAccountControlSettings 確認済みの発行元: Microsoft Windows
♥ 詳細を表示する(D) (はい(Y) いいえ(N)
<u>これらの通知を表示するタイミングを変更する</u>

この取扱説明書について

この取扱説明書は、本プログラムのインストール時にコンピュータ内に自動的に 保存されます。

インストール完了後は、『スタート』メニューからこの取扱説明書を参照することが できます。

- 【1】『スタート』をクリックしアプリの一覧を表示します。
- 【2】『リアルリンクツール取扱説明書』を選択します。
- 【3】『(本プログラム) 取扱説明書』をクリックすると、この取扱説明書を 表示します。

※取扱説明書は PDF 形式で作成されています。

ご覧いただくためには、アドビシステムズ社の Acrobat Reader(5.0以降推奨) または Adobe Reader、Microsoft Edge 等の PDF を表示できるソフトが必要です。 ※取扱説明書が表示されない場合は、「取扱説明書が開けない場合は」をお読み ください。



第1章 製品が届きましたら	8
1-1. 製品の確認	8
1-2. 対応製品	9
第2章 動作条件	1 2
2-1. 動作環境	1 2
2-2. 接続形態	1 3
2-3. 動作条件	1 5
2-3-1. モジュール登録ツールについて	1 5
2-3-2. 通信ポートの使用について	1 5
2-3-3. モニタデータについて	1 6
2-3-4.モニタデータ蓄積について	1 8
2-3-5. モジュールの削除/故障について	2 0
第 2 音 	9 1
第 5 单 操作于順	2 1
3 - 2 プルダウンメニュー	2 2
第4章 保証	2 3
4-1. 保証期間	2 3
4-2. 保証範囲	2 3
4-3. 責任制限	2 3
第5章 SCH/STH/WJM/WVM/WTMと コンピュータの接続と設定	<u> = 2 4</u>
5-1. 接続	2 4
5-1-1. シリアル変換モジュール(WRT-SCH)、 または蓄積モシ	ジュール (WRT-
S T H) を使用する場合	2 4
5-1-2. ジョイントモジュール(W J M□)を使用する場合	2 5
5-1-3. Web対応エネルギー監視モジュール(WTM)を使用する場	書合 2 5
5-2. ケーブル	2 6
5-2-1. 公衆回線モデムを使用しない場合	2 6
5-2-2. 公衆回線モデムを使用する場合	2 6
第6章 プログラムのインストール	2 7
6-1. プログラムのインストール	2 7
6-2. インストール時のエラーメッセージ	3 0
第7章 プロガラルの知動	0 1
弗(早 ノロクフムの起動	3 1
(一Ⅰ. 起期前の確認	3 I
i = 1 = 1. WKI = 5 I ロ/ 5 U ロを使用 9 る 場合	3 1

目

次

第 8	章	: 1	操作	:		3	6
8		1	. 7	確認ī	画面について	3	6
8		2	. Į	景境調	史定	3	7
	8	_	2 -	-1.	通信設定	3	8
	8	_	2 -	- 2.	蓄積設定	4	0
	8	_	2 -	-3.	警報発報通知監視設定	4	1
	8	_	2 -	- 4.	データ表示設定	4	2
	8	_	2 -	- 5.	デジタル表示色設定	4	3
8		3	•	アラ・	- ム設定	4	4
	8	_	3 -	-1.	アラーム設定画面	4	4
	8	_	3 -	- 2.	アラーム設定	4	5
8		4	. :	モニ	>設定	4	6
	8	_	4 -	-1.	モニタ設定画面	4	6
	8	_	4 -	- 2.	モニタ新規設定	5	4
	8	_	4 -	-3.	モニタ設定変更	6	4
	8	_	4 -	-4.	モニタ設定削除	6	4
	8	_	4 -	- 5.	モニタ設定 モニタ開始/停止	6	5
	8	_	4 -	- 6.	一括削除	6	5
8		5	. 5	監視	モニタ	6	6
	8	_	5 -	-1.	監視モニタ画面	6	6
	8	_	5 -	- 2.	監視モニタ モニタ開始/停止	6	7
8		6	•	グラン	7表示	6	9
	8	_	6 -	-1.	グラフについて	6	9
	8	_	6 -	- 2.	グラフ表示方法	7	0
	8	_	6 -	-3.	グラフのプロパティ	7	1
8		- 7	. í	簡易 ^に	モニタ	7	9
	8	_	7 -	-1.	簡易モニタ画面	7	9
	8	_	7 -	- 2.	簡易モニタ設定	7	9
	8	_	7 -	-3.	簡易モニタ表示	8	1
	8	_	7 -	- 4.	簡易モニタ表示終了	8	2
8		8	. 1	蓄積	ファイル	8	2
8		9	.	自動	蓄積データ削除	8	5
8		1	0.	系統	充図表示画面	8	6
8		1	1.	イ・	ベントログ	8	8
	8	_	1	1 —	L. イベントログファイル	8	8
	8	_	1	1 - 2	2. イベントログ内容	8	8
	8	_	1	1 - 3	3. イベントログクリア	8	9
8		1	2.	画	釘印刷	8	9
8		1	3.	警	服 発報通知監視	9	0
8		1	4.	プリ	ュグラムバージョンの確認	9	2
8		1	5.	プリ	ュグラムの終了	9	2
8		1	6.	I	ラーメッセージー覧	9	3
付鋦	Ł1	•	高調	調波	欠数、高調波相/高調波相間情報の表示内容について	9	9
付鋦	Ł2		Wir	ldows	10ご使用中の起動失敗について 1	0	1

・PC/ATは米国IBM社の登録商標です。

・Core 2 Duoは米国Intel社の登録商標です。

・Microsoft 及びWindows 8.1、Windows 10、 Windows 11は米国Microsoft社の登録商標です。

※この説明書の内容は、改善のため予告なしに一部変更することがありますのでご了承ください。

第1章 製品が届きましたら

このたびは「**リアルタイムモニタ(WRS-MONH)**」をお買い求めいただき、誠に ありがとうございます。

本プログラムは、リアルリンクネットワーク上にあるモジュール又はイーサネット上にある ジョイントモジュール(WJM□)のモニタ、モニタデータ蓄積、モニタデータアラーム監視、 モニタデータグラフ表示、警報発報通知監視をするソフトです。

この取扱説明書には「**リアルタイムモニタ(WRS-MONH)**」をコンピュータにインストール する方法、および、インストール後の操作について書かれています。 製品を正しく末永くご使用いただくために、ご使用前に必ずお読みください。

1-1. 製品の確認

次のものがお手元に揃っているかご確認ください。 なお、CD-ROMは大切に保管してください。

・「リアルタイムモニタ (WRS-MONH)」CD-ROM ... 1枚

本プログラムを使用する場合は、下記のいずれかのモジュールとリアルリンクツールが 必要になります。

くモジュール>

シリアル変換モジュール	(WRT - SCH)
蓄積モジュール	(WRT - STH)
ジョイントモジュール	(WJM□)
Web対応エネルギー監視モジュール	(WTM)

<リアルリンクツール>

モジュール登録ツール (WRS-NCFT)

- ※この説明書に記載されている『カウンタ入力モジュール』とは下記のモジュールの ことです。
 - •WRBT-CNモジュール
 - WRBT-PI□T-A□00モジュール
 - WRBA-PI□F-A□01モジュール

1-2. 対応製品

本プログラムが対応しているリアルリンク製品については、CD-ROMに入っている「readme.txt」ファイルにも記載されております。参照してください。

※D/Bアップデートを行った場合、対応製品の一覧はCD-ROM内の

「readme.txt」を参照してください。

本製品は以下のリアルリンク製品に対応しています。

・WRLシリーズ

AT1DS、	AT2DS、	AT4DS、	AT8DS	
AT1T□、	AT2T□、	AT1L□,	AT2L□	
AT1R□、	A T 2 R □ 、	AT1MP、	AT2MP	
AR1DZ、	AR1DS、	AR2DS、	AR4DS、	AR8DS
DM500、	DM501、	CM2TR、	C M 2 R Y	
DT4TR、	DT8TR、	DT16TR、	DT4TD、	D T 8 T D 、 D T 1 6 T D
DR4TR、	DR8TR、	DR16TR、	DR4RY、	DR8RY、DR16RY
LG4TR、	LG8TR、	LG4RY、	L G 8 R Y	

• W R B T シリーズ

AT1DS、	AT2DS、	AT4DS、	AT8DS	
AT1T□,	AT2T□、	AT1L□、	AT2L□	
AT1R□,	AT2R□、	ΑΤ1ΜΡ、	AT2MP	
AR1DZ、	AR1DS、	AR2DS、	AR4DS、	AR8DS
DT4TR、	DT8TR、	DT16TR、	DT4TD、	D T 8 T D 、 D T 1 6 T D
DR4TR、	DR8TR、	DR16TR、	DR4RY、	D R 8 R Y 、 D R 1 6 R Y
CN2TR、	CN4TR、	C N 8 T R		
РІ2Т-А[]00、	РІ4Т-А[]00、	PI 8T - A \square 00

・WKDシリーズ

РА12Т、	РА1ЗТ、	РАЗЗТ、	РАЗ4Т、	ΑΕΤ
PA12F、	PA13F、	PA33F、	PA34F	

・WRMシリーズ

PA13AT, PA13CT, PA13FT, PA13GT, PA13KT, PE13AT PA33AT, PA33CT, PA33FT, PA33GT, PA33KT, PE33AT AET-C, PFT-P PA13AF, PA13CF, PA13FF, PE13AF PA33AF, PA33CF, PA33FF, PE33AF, PI29F

・WRMPシリーズ PA12T、PA13T、PA33T、PALPT PA12F、PA13F、PA33F、PALPF

- ・WRBAシリーズ $P I 2 F - A \Box 0 1, \qquad P I 4 F - A \Box 0 1, \qquad P I 8 F - A \Box 0 1$ DIO2TF, DIO4TF, DIO2RF, DIO4RF ・WRBCシリーズ DI16F, MAI8F, DIO8F, RI8F A I 8 F ・WRMCシリーズ PA12T, PA13T PA33T, PA34T PA12F, PA13F PA33F, PA34F ・WCDシリーズ PA12F, PA13F, PA33F, PA34F PA12T, PA13T, PA33T, PA34T ・WRTシリーズ SCH, STH, STOF ・WJM□シリーズ ・WJFシリーズ PA2, PE4, PA34, AI16, VT4, CT4 AE8, RI8, THI16, DO16, DI16, STO I Z 8 ・WKMシリーズ (PAシリーズ)
 - PAKFN、 PAKTN※WKMのオプション設定は本ツールでは行えません。本体のスイッチで行ってください。
 - ※WRS-NCFT V5.00CD、 WRS-REPO V5.00CD WRS-PMS V7.00CD以降のバージョンで対応しています。 インターフェースにはWJMC、WJMD、WJME、WJMFのいずれか が必要です。

・WKMシリーズ (PXシリーズ)

PXNFN, PXNTN

- ※WKMのオプション設定は本ツールでは行えません。 本体のスイッチで行ってください。
- ※WRS-NCFT V5.20、 WRS-REPO V5.20 WRS-PMS V7.20以降のバージョンで対応しています。 インターフェースにはWJMC、WJMD、WJME、WJMFのいずれか が必要です。
- ・WTMシリーズ
 - PE6LN, PE6LA
 - **※**WRS−NCFT V9.30、WRS−PMS V9.30
 - 以降のバージョンで対応しています。

第2章動作条件

2-1. 動作環境

1. ハードウェア

コンピュータ	:IBM PC/AT互換機
• C P U	:インテル® Core™2 Duo プロセッサー 1.8GHz以上
・メモリ	: 1 G B 以上推奨
・ハードディスク	: インストール時、 80Gバイト 以上の空き
\cdot CD-ROM	: 必須
・ディスプレイ	: XGA1024×768以上
・マウス	: 必須
・COMポート	: C O M 1 ~ C O M 5

※COM3~COM5はRS232C拡張ボードを使用している時に有効です。
 10BASE-Tポート : イーサネット使用時必須

2. O S

以下の 0S に対応しています。

- Windows 8.1 Pro
- Windows 10 Pro
- Windows 11 Pro
- 3. モデム

制御コマンドATコマンド準拠 MNP4/V.42 MNP5/V.42bis BUSY時、リトライなし

弊社推奨モデム

ME5614E2 (OMRON製) 電源内蔵タイプ
 ME5614D2 (OMRON製) 電源アダプタタイプ

弊社推奨PHSモデム

- PAU-702RS (NECマグナスコミュニケーションズ製)
- PAU-702LNK (NECマグナスコミュニケーションズ製)

※PHSモデムの詳細については、PHSモデム取扱説明書を参照してください。

2-2. 接続形態

- - RS232C クロスケーフ゛ル
- _____ イーサネット
- リアルリンクネットワーク

○シリアル変換モジュール(WRT-STH)/蓄積モジュール(WRT-STH)



※シリアル変換モジュール(WRT-SCH)/蓄積モジュール(WRT-STH)は、 電力マルチメータ(WKMシリーズ)には対応していません。

○ジョイントモジュール(WJM□)/Web対応エネルギー監視モジュール(WTM)



- ※1 イーサネット上のネットワークでジョイントモジュールを使用する場合、WJM□-Cは 構築は出来ません。
- ※2 インターフェースを使用してジョイントモジュール(WJM□)を使用する場合、
 LONWORKS上のネットワークではWJM□-Bは使用出来ません。
- ※ 電力マルチメーター(WKMシリーズ)はWJMA/WJMBのジョイントモジュールに 対応していません。

2-3. 動作条件

2-3-1. モジュール登録ツールについて

本プログラムはモジュール登録ツール(WRS-NCFT)のモジュール登録情報を 使用してモニタ設定をします。

あらかじめ、モジュール登録ツール(WRS-NCFT)をインストール後、 ネットワークに接続したモジュールのモジュール情報を登録してください。

- ・シリアル変換モジュールまたは蓄積モジュールを使用する場合は 『SCH/STH』タブより登録してください。
- ・ジョイントモジュールまたはWeb対応エネルギー監視モジュールを使用する場合は 『WJM/WVM/WTM』タブより登録してください。

※簡易モニタ機能を使用する場合はモジュール登録ツールの情報は必要ありません。

※電力マルチ(PXシリーズ)の高調波次数、高調波相/相間設定は

モジュール登録ツール(WRS-NCFT)で行います。

※モジュール登録ツール(WRS-NCFT)については、

モジュール登録ツール(WRS-NCFT)の取扱説明書を参照してください。

2-3-2.通信ポートの使用について

本プログラムが使用中のCOMポートを、モジュール登録ツール(WRS-NCFT)、 蓄積設定ツール(WRS-PMS)、DDEサーバー(WRS-DDE)、 パラメータ設定ツール(WRS-PMD-2)、日報・月報ソフト(WRS-REPO) のソフトなどで使用しないでください。 本プログラム以外の上記ソフトウェアを使用する場合、

他のCOMポートを使用してください。

(下記の図 参照)



※同じCOMポートを指定することは可能ですが、同時にソフトウェアを動かす ことはできません。

2-3-3.モニタデータについて

本プログラムのモニタ更新時間はモジュール台数、ボーレートの設定より変動します。

- 例 モジュール数 : 300台
 ○ボーレート : 57600bps
 ・全画面のモニタデータ更新 :最大約50秒
 - ・モニタデータ蓄積 :1秒ごと

(蓄積データは1秒ごとに行われますが最大約50秒間、同じデータが蓄積されます。) 〇イーサネット

- ・全画面のモニタデータ更新 :最大約60秒
- ・モニタデータ蓄積 :1秒ごと

(蓄積データは1秒ごとに行われますが最大約60秒間、同じデータが蓄積されます。)

下記のモジュールの場合、n台として計算します。

モジュール		モジュール台数		
WRM		1モジュールを4台として計算		
WKM		1モジュールを7台として計算		
WRMP		1モジュールを2台として計算		
WRMC	PA12	1モジュールを12台として計算		
	PA13	1モジュールを8台として計算		
	PA33	1モジュールを8台として計算		
	PA34	1モジュールを4台として計算		
W R B A	DIO	1モジュールを2台として計算		
WRBC	MA I	1モジュールを2台として計算		
	DI	1モジュールを2台として計算		
	DIO	1モジュールを2台として計算		

ジョイントモジュール(WJMD)は以下のWJFモジュールを接続した合計をn台として 計算します。

モジュール		モジュール台数
WJF	P A 2	1ユニットを2台として計算
	P E 4	1ユニットを4台として計算
	PA34	1ユニットを1台として計算
	A I 1 6	1ユニットを1台として計算
	V T 4	1ユニットを1台として計算
	СТ4	1ユニットを1台として計算
	AE8	1ユニットを1台として計算
	RI8	1ユニットを1台として計算
	THI16	1ユニットを1台として計算
	DO16	1ユニットを1台として計算
	D I 1 6 🗆 🗆	1ユニットを3台として計算
	IZ8	1ユニットを1台として計算

2-3-4. モニタデータ蓄積について

以下の条件では、蓄積データが抜ける事があります。

- ・他プログラムの影響でWindowsに負荷がかかり本プログラムの処理が行えない場合。(ウィルスチェックソフトが起動している場合など)
- ・蓄積ファイルのファイルサイズとファイル数により蓄積データの自動削除に時間が
 かかる場合。
- ・本プログラム(グラフ画面含む)のタイトルバーをドラッグした場合。

🚺 リアルタイ	(75528	 タイトルバー			
ファイル (E)	ツール (<u>1</u>)	設定(⊆)	ヘルプ(出)		

下記方法で回避することが出来ます。

【1】タスクバーの検索欄に『sysdm.cpl』と入力し、システムのプロパティを開きます。

テムのブ	םאדר [
:般 コン	ピュータ名「ハードウェア「詳細設定」システムの復元」自動更新「リモート
Administ	rator としてログオンしない場合は、これらのほとんどの変更はできません。
- パフォーマ 視覚効	でンス 果、 プロセッサのスケジュール、 メモリ使用、 および仮想メモリ
	設定⑤
ー <mark>ユーザー</mark> ログオン	プロファイル に関連したデスクトップ設定
	設定低
- 起動と回 システム	l復 起動、システム障害、およびデバッグ情報
	設定①
	環境変数(<u>N</u>) エラー報告(<u>R</u>)
	OK キャンセル 適用(

【2】『詳細設定』タブをクリックしパフォーマンス欄の『設定』をクリックします。

【6】『パフォーマンスを優先する』を選択し『適用』をクリックします。

パフォーマンス オプション 🔹 🛛 🔍
視覚効果 詳細設定 データ実行防止
コンピュータの Windows のデザインとパフォーマンスに使う設定を選択してください。
○コンピュータに応じて最適なものを自動的に選択する(L)
 ● 「リインを優元する(P) ● パフォーマンスを優先する(P)
Олдяд(<u>©</u>):
 ウィンドウとボタンに視覚スタイルを使用する ウィンドウを最大化や最小化するときにアニメーションで表示する コンボ ボックスをスライドして開く スクリーン フォントの縁を滑らかにする タスク バー ボタンをスライドする デスクトップのアイコン名に影を付ける ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する ヒントをフェードまたはスライドで表示する フォルダでよく使用するタスクを使用する マウス ボインタの下に影を表示する
OK キャンセル 適用(<u>A</u>)

2-3-5.モジュールの削除/故障について

本プログラムでモニタ設定をした後、モニタ設定しているインターフェースモジュール以外 のモジュールをネットワークより取り外す場合、必ず下記の手順で行ってください。

〇モジュールを削除

①モニタ設定画面で、ネットワークより取り外すモジュールのモニタ設定をすべて削除します。

②モジュール登録ツール(WRS-NCFT)で、モジュール登録情報を削除します。

▲注意 モジュール登録ツール(WRS-NCFT)の登録情報削除について モジュール登録情報削除時に、『蓄積情報も削除しますか?』、または 『モジュール内の蓄積情報を削除しますか?』のどちらかのメッセージ を表示します。

③ネットワークより該当モジュールを取外してください。

〇モジュールが故障した

(故障したモジュールの代りに新しいモジュールをネットワークに取付ける場合)

 ①モジュール登録ツール(WRS-NCFT)で、故障したモジュールの モジュール登録情報を削除します。

⚠注意

- モジュール登録ツール(WRS-NCFT)の登録情報削除について モジュール登録情報削除時に、『蓄積情報も削除しますか?』、または 『モジュール内の蓄積情報を削除しますか?』のどちらかのメッセージ を表示します。必ず『いいえ』を選択してください。
- ②モジュール登録ツール(WRS-NCFT)で、故障したモジュールと
 同じネットワークNo・サブネットNo・モジュールNo・IPアドレス・
 モジュール名称を指定し新しいモジュール情報を登録します。

⚠注意

故障したモジュールの登録方法について モジュール登録ツール(WRS-NCFT)で故障したモジュールを削除後、 モジュール登録ツール(WRS-NCFT)を終了せずに、そのまま新しい モジュールを登録してください。

※モニタ設定画面で、ネットワークより取外すモジュールのモニタ設定を削除しない でください。

- ※電力マルチメータ(PXシリーズ)の場合、新しいモジュールの高調波次数、 高調波相/高調波相間の設定を行ってください。
- ※モジュール登録ツール(WRS-NCFT)ついては、
 - モジュール登録ツール(WRS-NCFT)の取扱説明書を参照してください。

第3章操作手順

リアルタイムモニタ(WRS-MONH)を使用するための手順をご確認ください。

3-1. 操作手順



※ページナンバーをクリックするとそのページにジャンプします。

3-2. プルダウンメニュー

本ソフトウェアに表示されているメニューは下記のとおりとなります。



※ MSDEをインストールしていない場合、アラーム設定、モニタ設定、画面印刷、系統図表示 は選択することができません。

第4章保証

4-1. 保証期間

本ソフトウェアの保証期間は納入後1年間といたします。

4-2. 保証範囲

保証期間内に当社側の責により不具合が生じた場合は、代替品の提供を無償で実施させていただきます。

ただし、不具合の原因が次に該当する場合はこの保証の対象範囲から除外いたします。

- 1) 本書に記載されている条件、環境、取扱いの範囲を逸脱してご使用された場合
- 2) 当社以外による構造、性能、仕様などの改変による場合
- 3) 本ソフトウェア以外の原因による場合(サーバー故障など)
- 4) その他、天災、災害、不可抗力など当社側の責ではない原因による場合

なお、ここでいう保証は本ソフトウェア単体の保証に限るもので、本ソフトウェアの不具合や 瑕疵から誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

4-3. 責任制限

本ソフトウェアに起因して生じた損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

第5章 SCH/STH/WJM/WVM/WTMと

コンピュータの接続と設定

本プログラムを使用する場合、パソコンとシリアル変換モジュール(WRT-SCH)/ 蓄積モジュール(WRT-STH))/ジョイントモジュール(WJM/WVM)/ Web対応エネルギー監視モジュール(WTM)を下記のように接続してください。

5-1. 接続

5-1-1.シリアル変換モジュール(WRT-SCH)、 または蓄積モジュール(WRT-STH)を使用する場合

COM3~COM5は、RS232C拡張ボードを使用している時に有効です。(出荷時設定はCOM1を使用する設定になっています)





※ シリアル変換モジュール(WRT-SCH)では公衆回線での接続は出来ません。

モデムを使用する場合は蓄積モジュールのモードスイッチの5をONにしてリセット (モデム使用モード)してください。



※蓄積モジュール(WRT-STH)については、 蓄積モジュール(WRT-STH)の取扱説明書を参照してください。

5-1-2. ジョイントモジュール(WJM□)を使用する場合

・RS232C経由で使用する場合

COM3~COM5は、RS232C拡張ボードを使用している時に有効です。
 (出荷時設定はCOM1を使用する設定になっています)





・イーサネット経由で使用する場合



5-1-3.Web対応エネルギー監視モジュール(WTM)を使用する場合



5-2.ケーブル

5-2-1. 公衆回線モデムを使用しない場合

RS232Cクロスケーブル (インターリンクケーブル) を使用します。



5-2-2. 公衆回線モデムを使用する場合

RS232Cストレートケーブル (モデムケーブル) を使用します。



▲注意 ・コンピュータの種類によって、ピン番号、ピン数が異なる場合があります。 ・接続後、コネクタのネジをしっかり締め、抜けないようにしてください。 ・WRT-SCH/WRT-STHの設定は、 ボーレート57600bps、サムチェックとパリティチェックなしに 『ディップスイッチ』にて設定してください。 ※インターフェースモジュール詳細については、各モジュールの 取扱説明書を参照してください。

第6章 プログラムのインストール

本プログラムをコンピュータにインストールします。

⚠注意

 ①本プログラム「リアルタイムモニタ」をインストールする場合、インストールする前に 必ず『administrator』でログインしてください。
 ②BEMS 対応モジュール登録ツール、BEMS 対応データ収集ソフトがインストールされている PC では本ソフトウェアを動作させることができません。

必ず別の PC にインストールしてください。

- 6-1. プログラムのインストール
 - 【1】CDドライブにインストールCD「リアルタイムモニタ(WRS-MONH)」を 挿入します。
 - 【2】インストールCD内の「MONH」を開いて「setup.exe」を右クリックし、 「管理者として実行」をクリックしてください。
 - 【3】下記の画面を表示します。『OK』をクリックするとリアルタイムモニタ (WRS-MONH)のセットアップを開始します。

∰U7N944E=9 セットアップ*	×
リアルタイムモニタのセットアップを始めます。	
□255 セットアップ・プログラムでは、 システム ファイルや共有ファイルが使用中のとき、 その ファイルの追加や更新はできません。 記動している他のアプリケーションを終了す	
ることをお勧めします。	
	-
インストーノ	レをキ
レー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	レを紆

【4】インストール先のディレクトリを確認後、セットアップを開始するボタンを

クリックします。

※通常、インストール先のディレクトリ確認画面では、<u>ディレクトリを変更せずに</u> 次へ進んでください。

2	リアルタイムモニタ セットアッフ*			×
	セットアップを開始するには次のホ	タンをクリックしてください。		
	このホックを せットアックされ	りりックすると リアルタイムモニタ アフ? こます。	リケーションが指定されたディレクト	卯こ
	ディレクトリ: C:¥RialHost¥Monh¥	;	ディレクトリ変更①	
-		終了凶]	
_		\square	ディレクトリの変更	をします。
			 インストールをキャ インストールを開かれた 	ァンセルしま 41まオ
	インス	トール先のディレクト	リを表示します。	コレムり。

【5】インストール先のプログラムグループの確認画面を表示します。
 リアルリンクツールのグループを確認後、『継続』をクリックします。
 ※通常、インストール先のプログラムグループ確認画面では、
 プログラムグループを変更せずに次へ進んでください。

帰リアルタイムモニター フプログラム グループの選択 🔍	
セットアッフりま [プログラム グループ] ボックスに表示されたグループに項目を 追加します。 新しい ウループ名を入力することも、既存のグループ リストから選択することもできます。	
プログラム グループ(<u>P</u>): リアルリンウ ツール 既存のグループ <u>ᢗ</u> 2:	新しいグループ名を入力 できます。
MELCO INC microVIEW-G アクセザリ スタートアップ リアルリンクソール	_ 既存のグループから選択 できます。
	- インストールを継続します。 - インストールをキャンセル します。

【6】リアルリンクツール取扱説明書のグループを確認後、『継続』をクリックします。 ※通常、インストール先のプログラムグループ確認画面では、

<u>プログラムグループを変更せずに</u>次へ進んでください。

ポリアルタイムモニタープログラム グループの選択 セットアップ 1よ [プログラム グループ] ボックスに表示されたグループ1こ項目を 追加します。新し、 グループ2名を入力することも、既存のグループ リストから選択することもできます。	
フ [*] ロケラム ケルーフ*(P): リアルリンク ツール 取扱説明書 既存のケルーフ*☆: MELCO INC microVIEW-G アクセザリ スタートアップ リアルリンク ツール いたりレック ツール	 新しいグループ名を入力 できます。 既存のグループから選択 できます。
 	- インストールを継続します。 - インストールをキャンセル します。

【7】リアルタイムモニタ(WRS-MONH)のセットアップを開始します。

パンプレンシュージョン・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・ション・シ	
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥REGSVR32.EXE	
11%	
キャンセル	
- インストール1	(行状能が%で表示)ます
インストールを	ミキャンセルします。

【8】下記の画面を表示したら、『OK』をクリックしてください。 インストール完了です。Windowsを再起動してください。

<mark>ሃፖル</mark> タイムモニタ セットアップ 🛛 🛛	
リアルタイムモニタのセットアップが完了しました。	
1	ンストールが完了しました。

6-2. インストール時のエラーメッセージ

インストールをしている途中、インストールメッセージが表示する場合があります。 インストールを正常に終わらせる為に、下記の正しい対応処理をしてください。

システムにある一部のシステムファイルが最新でないので、セットアップを続行で きません。セットアップでこれらを更新してよいのなら『OK』をクリックして下 さい。もう一度セットアップを実行する前に Windows を再起動する必要があります。 システムファイルを更新しないでセットアップを終了する場合は、『キャンセル』 をクリックしてください。

対応: ①『OK』をクリック後、Windowsを再起動します。
 ②もう一度セットアップ実行します。

コピーしようとしているファイルより新しいファイルがシステムに存在します。 現在のファイルをそのまま使用することをお勧めいたします。

対応: 『はい』をクリックしてください。

セットアップ先のファイルは、他のアプリケーションで使われています。 使用中のアプリケーションを終了させてください。

対応: 『無視』をクリックしてください。

セットアップ先のファイルは、他のアプリケーションで使われています。使用中の アプリケーションを終了させてください。ファイルのコピーエラーを無視すると、 そのファイルは組み込まれません。この場合、アプリケーションが正しく動作しな い可能性があります。エラーを無視しますか?

対応: 『はい』をクリックしてください。

既に組み込まれています。既存のものを置き換えますか?

対応: 『はい』をクリックしてください。

ファイルのコピーにエラーが発生しました。

対応: 『無視』をクリックしてください。

第7章 プログラムの起動

7-1. 起動前の確認

○『第2章 動作条件』を必ずお読みください。

7-1-1.WRT-STH/SCHを使用する場合

・RS232Cケーブルが正しく接続してあること。
 ※WRT-STH/SCHの本体前面のコネクタと、
 コンピュータ側のCOM1~COM5のいずれかを接続してあること。
 COM3~COM5は、RS232C拡張ボードを使用している時に有効です。

- ・WRT-STH/SCHの通信速度(ボーレート)は、『57600bps』
 になっていること。(出荷時設定は57600bps)
- WRT-STH/SCHのサムチェックとパリティチェックは、『なし』に設定していること。(出荷時設定はサムチェック・パリティチェック無し)
- ・WRT-STH/SCHの電源が投入してあること。
- ・モデムを使用する場合は、モデムを正しく接続し、電源が投入してあること。
- ・モデムと蓄積モジュール(WRT-STH)は、電源を同じ電源元からとること。
 (異なる電源元であるとき、モデム電源をON後、蓄積モジュールの電源を ONしてください。)

※WRT-STH/SCHの詳細については、

各モジュールの取扱説明書を参照してください。

7-1-2.ジョイントモジュール(WJM□)を使用する場合

RS232Cより設定する場合

- ・RS232Cケーブルが正しく接続してあること。
 ※ジョイントモジュール(WJM□)本体上面のコネクタと、
 コンピュータ側のCOM1~COM5のいずれかを接続してあること。
 COM3~COM5は、RS232C拡張ボードを使用している時に有効です。
 (出荷時設定はCOM1を使用する設定になっています)
- ・ジョイントモジュール(ローカル)で使用する場合は、
 ジョイントモジュール(WJM□)の通信速度(ボーレート)は、
 『57600bps』になっていること。(出荷時設定は57600bps)
- ・ジョイントモジュール(WJM□)のサムチェックとパリティチェックは、
 『なし』に設定していること。(出荷時設定はサムチェック・パリティチェック無し)
- ・ジョイントモジュール(WJM□)の電源が投入してあること。
- ・モデムを使用する場合は、モデムを正しく接続し、電源が投入してあること。
- ・モデムとジョイントモジュール(WJM□)は、電源を同じ電源元からとること。

(異なる電源元であるとき、モデム電源をON後、ジョイントモジュールの電源をONし てください。)

イーサネットより設定する場合

- ・LANケーブルが正しく接続してあること。
- ・ジョイントモジュール(WJM□)の電源が投入してあること。
- ※ジョイントモジュール(WJM□)の詳細については、

ジョイントモジュール(WJM□) 取扱説明書を参照してください。

7-1-3. Web対応エネルギー監視モジュール(WTM)を使用する場合 イーサネットより設定する場合

- ・LANケーブルが正しく接続してあること。
- ・Web対応エネルギー監視モジュール(WTM)の電源が投入してあること。
- Web対応エネルギー監視モジュール(WTM)のLAN有効スイッチが有効状態になっていること。

※Web対応エネルギー監視モジュール(WTM)の詳細については、

Web対応エネルギー監視モジュール本体取扱説明書を参照してください。

7-2. 起動

- 【1】『スタート』をクリックしアプリの一覧を表示します。
- 【2】『リアルリンクツール』を選択します。
- 【3】『リアルタイムモニタ』を右クリックし、「その他」から「管理者として実行」を クリックすると監視モニタ画面を表示します。

	ÿ
	א-ע לענעדע אורע א
	データベース管理ツール
	Eジュール登録ツール
8	UT#946E=9
	▲ 蓄積設定ツール
ŝ	日報・月報
Φ	リアルリンク ツール 取扱説明書 〜
Ħ	e 🖨 🗐

パリアルタイムモニタ ファイル(E) ツール(T)	設定(の) へいざ(り)				<u> </u>
		管報発報通知カウンタリセット		背面 開始 「	停止
監視1		監視3	監視4	監視5	
		1	2	3	
4	(5)	6		7	8
↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓		↓ ↓	通知件数 1件	空き容量:3,160,608KB	05/06/14 10:32

- ①警報発報通知件数(⑥で表示)を0リセットします。
- 警報発報通知監視設定を行っていない時又は、警報発報通知件数が0件の時は使用 できません。
- ②前面ボタン:グラフ画面を前面に表示します。 背面ボタン:グラフ画面を背面に表示します。

③開始ボタン:モニタを開始します。 停止ボタン:モニタを停止します。

④モニタ状態を表示します。

モニタ停止中

モニタ停止処理中

モニタ開始中

⑤警報発報通知監視状態を表示します。
 警報発報通知監視停止中
 警報発報通知監視中

⑥警報発報通知件数を表示します。 警報発報通知設定を行っていない時は表示しません。

⑦ディスクの空き容量を表示します。

⑧現在の日時を表示します。

▲注意 MSDEインスール後にコンピュータ名を変更すると、 リアルタイムモニタ起動時に以下のようなエラーメッセージを表示します。

下記の対応処理をしてください。

確認	×
D/Bがオーブンできま	せん
OK	

対応:①『OK』をクリックして、MSDEをアンインストールしてください。

- 『データベース管理ツール』より『MSDEインストール』して、
 - 『データベース登録』をしてください。
- ③『リアルタイムモニタ』を再起動してください。

⚠注意

Windows Defenderを有効にしている場合、 リアルタイムモニタ起動時に以下のようなエラーメッセージ を表示する場合があります。

下記の対応処理をしてください。

このアプリはお使いの PC では実行できません

この PC で使用できるアプリのバージョンについては、ソフトウェア発行者に確認してください。

閉じる

対応:Windows Defenderのスキャン対象から、リアルタイムモニタ インストールフォルダ(デフォルトではC:¥RialHost) を除外してください。

⚠注意

Windows10をご使用中でプログラムの起動に失敗する場合、
 『付録2. Windows10ご使用中の起動失敗について』をご確認ください。
_____ 第8章 操作

8-1. 確認画面について

操作エラーが発生した場合または、操作の継続/キャンセルを確認する場合、確認画面を 表示します。

確認		×
モニタを停止しま	.च	
OK	キャンセル	

- ・エラー発生の場合
 - 『OK』の操作のみできます。
- ・操作の継続確認の場合
 『OK』→ 操作継続
 - 『キャンセル』→ 操作キャンセル

8-2. 環境設定

プルダウンメニューの「設定」から、『環境設定』を指示すると、下記の画面を 表示します。

🚮 リアルタイムモニタ	
ファイル (E) ツール (I) 設定 (C) ヘルブ (H) モニ対設定 (M) アラーム設定 (A) 胡野	
<mark>鼎</mark> 環境設定	×
通信設定	
13/320 通信ボート COM1 ▼ タイムアウト 40 秒	
回線種類 ・トーン ・パルス リトライ 2 回	
ホペーレート 57600 💌	
ハツティ 〇有 • ● 無	
サムチェック C 有 C 無	
モデムネガ期化ティータ	
イーサネット サムチェック 🔿 🧿 🧮	
蕃積データー	
□ 自動で蓄積が~朔除をする 月 日 時 インターバル ● 秒 ● 分 □ ■	
警報發報通知監視	
RS232C COM1 ▼ □ 1-サネット	
警報発報通知がセージ表示を表示後 1 分間後に終了する	
(0分指定の時は表示終了しません)	
■ 音¥107年410通知(文110)(7月1)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)	
 ・ ・ ・	
□ アナロケデータ小数点桁数表示を固定する 1 _ 析	
-white	OK
7 / 20/2077日	

8-2-1. 通信設定

RS232C又は、イーサネットの通信設定を行います。

○ RS232Cで接続する場合

- 【1】通信ポートを選択します。
 (通信ポートをクリックするとCOM1~COM5の選択ができます。)
 COM3~COM5は、RS232C拡張ボードを使用している時に有効です。
- 【2】使用する電話回線を選択します。(出荷時設定:トーン)
 モデムを使用する時に有効になります。
 ・ダイヤル回線 → パルス ・プッシュホン回線 → トーン
- 【3】ボーレート(通信速度)の選択をします。(出荷時設定:57600bps)
 1200bps、2400bps、4800bps、9600bps、14400bps、19200bps、38400bps、57600bps
 から選択ができます。
- 【4】パリティの有無を選択します。(出荷時設定:無) 有の時は奇数パリティになります。
- 【5】サムチェックの有無を選択します。(出荷時設定:無)
- ※ボーレート/パリティ/サムチェックの設定はインターフェースモジュールの設定と 同じ設定にしてください。
- ※インターフェースモジュール詳細については、各モジュールの取扱説明書を参照してください。
- 【6】モデム初期化データを入力します。(出荷時設定:AT&C1S0=1V0E0&W0) パソコンに接続しているモデムの動作を設定するためのものです。 公衆回線が接続できない時に変更する必要があります。 電話番号とモデムの回線状態を確認した後、モデムのマニュアルを参照の上 設定を変更してください。 ※通常、出荷時設定のまま使用してください。
- 【7】『記憶』をクリックします。 現在指定している通信ポートに対応したRS232C通信設定を更新します。
- 【8】通信のタイムアウト時間とリトライ回数を設定してください。
 (出荷時設定:タイムアウト45秒、リトライ2回)
 設定範囲:タイムアウト 45~180秒、リトライ 0~5回
- 【9】『OK』をクリックします。 通信のタイムアウト時間とリトライ回数設定を更新し、画面を終了します。

※他の通信ポートを設定する時、上記の【1】~【7】の設定を繰り返してください。

○ イーサネットで接続する場合

【1】 LANサムチェックの有無を選択します。(出荷時設定:無)

- 【2】通信のタイムアウト時間とリトライ回数を設定してください。
 (出荷時設定:タイムアウト45秒、リトライ2回)
 設定範囲:タイムアウト 45~180秒、リトライ 0~5回
- 【3】『OK』をクリックします。イーサネット通信設定を更新し、画面を終了します。

8-2-2. 蓄積設定

モニタ中の蓄積設定を行います。

┌ 蕃積データ	
□ 自動で蓄積データ削除をする	月日日時
インターバル ⑥秒 〇分	0 💌

【1】自動蓄積データ削除設定をします。(出荷時設定:削除しない) 自動蓄積データ削除を行う場合は『自動で蓄積データ削除をする』に チェックをつけて、自動蓄積データ削除を行う日時を指定します。

月・日・時を指定しますと、年に一度自動蓄積データ削除を行います。 例)

4月1日8時に設定

4月1日8時に自動蓄積データ削除を行います。

- 日・時を指定しますと、月に一度自動蓄積データ削除を行います。
- 例)
 - 1日8時に設定
 - 毎月1日8時に自動蓄積データ削除を行います。
- 時を指定しますと、日に一度自動蓄積データ削除を行います。 例)
 - 8時に設定
 - 毎日8時に自動蓄積データ削除を行います。
- ※自動蓄積データ削除については『8-9. 自動蓄積データ削除』を参照して ください。
- 【2】蓄積インターバルを指定します。(出荷時設定:0秒) 0/1/10/20/30/60秒、または0/1/10/20/30/60分から指定します。

※インターバル0秒または0分の時は蓄積をしません。

※蓄積ファイルについては『8-8. 蓄積ファイル』を参照してください。

8-2-3. 警報発報通知監視設定

RS232C又はイーサネットでのジョイントモジュールからの警報発報通知監視を行います。

蓄積設定ツール(WRS-PMS)より警報発報設定したジョイントモジュール(WJM□) からの警報発報通知を監視します。

警報発報通知監視 ■ RS232C COM1 ■ 「 イーサネット
警報発報通知メッセージ表示を表示後 0 分間後に終了する
(0分指定の時は表示終了しません)
 警報発報通知受信時指定したプログラムを起動する 参照

- 【1】RS232Cで警報発報通知監視を行うときに『RS232C』にチェックします。
 (出荷時設定:無)
- 【2】【1】でチェックした場合、モニタ設定で設定したI/Fモジュールが使用する Comポート以外のComポートを指定します。(出荷時設定: Com1) ボーレート、パリティ、サムチェックの設定は『8-2-1.通信設定』の設定 でComポートをオープンします。
- 【3】イーサネットで警報発報通知監視を行うとき『イーサネット』にチェックします。 (出荷時設定:無)
- 【4】通知メッセージ自動表示終了時間を設定します。(出荷時設定:0分) ※0分の場合は、自動的に通知メッセージの表示を終了しません。
- 【5】警報発報通知受信時に起動するプログラムを指定します(出荷時設定:無) 『参照』より、起動プログラムを指定してください。 ※ファイルの指定は拡張子が(.EXE)又は(.BAT)のみ指定可能です。 拡張子が(.EXE)の場合、二重でプログラムは起動しません。

※警報発報設定については蓄積設定ツール(WRS-PMS)の取扱説明書を参照してください。

8-2-4. データ表示設定

アナログデータ、デジタルデータの表示形式を設定します。 モニタ表示 ・ テシシタルテータ表示を1/0表示する ・ テシシタルテータ表示をON/OFF表示する ・ アナロクデータ小数点桁数表示を固定する 1 ・ 桁

○データ表示 (出荷時設定:1/0表示) デジタルデータが0の時、

1/0表示の場合は「0」と表示し、
 0N/0FF表示の場合は「OFF」と表示します。

アナログデータの小数点桁数表示

チェックなしの場合、小数点桁数は変動する事があります。

チェックありの場合、指定した小数点桁数でデータを表示します。

※監視モニタ、簡易モニタ、設定画面モニタ、蓄積データに反映します。

※小数点桁数表示を指定した場合、指定した小数点以下の数値は四捨五入されて表示します。

アラーム設定のデータは、四捨五入前のデータを使用しています。

8-2-5. デジタル表示色設定

デジタルグラフの表示色の設定をします。(出荷時設定:背景色=黒、文字色=白)

┌ テジタル表示色	
背景色	文字色

表示色のボタンをクリックすると下記の画面を表示します。

色の設定 <u>? × </u>
基本色(图):
作成した色(<u>C</u>):
色の作成(D) >>
OK キャンセル

『OK』をクリックするとタイムアウト/リトライ、イーサネットサムチェック、蓄積データ、 警報発報通知監視、データ表示、デジタル表示色の設定を更新し、画面を終了します。

8-3. アラーム設定

※ MSDEをインストールしていない場合、選択できません。

8-3-1. アラーム設定画面

プルダウンメニュー「設定」から『アラーム設定』を指示すると、下記の画面を表示します。



🚮 アラーム設定	×
アラーム発生時の画面切り替えを	ок
アラーム発生時の表示優先順位	
□ □ □ <u>□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □</u> □ □ □ □	
4 監視 4	
低 5 監視 5	*
アラーム表示色	
75-4HHI	
75-4ні —	
75-4LOW	
75-ALLOW	

8-3-2. アラーム設定

- 【1】アラーム発生時の画面切り替えを選択します。(出荷時設定:する) 「する」を選択した場合、監視モニタでモニタ中にアラームが発生した場合に アラームが発生したデータをモニタしている監視画面に自動切り替えします。
- 【2】アラーム発生時の表示優先順位を設定します。
 監視タブNoを選択し↑、↓のボタンで優先順位を指定します。
 現在開いている監視画面より、優先順位の高い監視画面でアラームが発生した場合
 監視画面を自動切り替えします。
- 【3】アラーム発生時の表示色を設定します。
 (出荷時設定:アラームLLOW=青、アラームLOW=紫、 アラームHI=橙、アラームHHI=赤)
 アラームLLOW/LOW/HI/HHIのボタンをクリックすると下記の画面を

アラームLLOW/LOW/HI/HHIのボタンをクリックすると下記の画面を 表示します。



【4】『OK』をクリックし設定を更新し、画面を終了します。

8-4.モニタ設定

※ MSDEをインストールしていない場合、選択できません。

8-4-1. モニタ設定画面

プルダウンメニュー「設定」から『モニタ設定』を指示すると、下記の画面を表示します。

	ייע קילולי סילולי	ゆイム (E) ツ	モニタ ール (D) 設定 (C) モニ短 アラーム 環境調	ヘルプ(出) (定(M) 設定(A) 新 役定(E)				
\bigcirc	2)	10 3		(4) (5)		6 7) (9)
					Ť Ť			
0 7 -	夕設定							
10	-710			モニタ 開始	停止		 于二匀/J	
₩			/ ●▼ モジュール種別	データ・	<u>↓</u> ↓ ↓	本日2日	$\bigvee_{n \neq k} \bigvee_{n \neq k}$	
西 t兒	西热見いい	ניק – בר	モジュール名			1.84%	//J/E18	7X180/E118 X9
L	1	1-1	WEB対応エネルギー監約 WTM_1	見 A-1:A分岐電流	Ě	^{4相2線2分岐}	5	5
				A-1:A分岐電圧			110	110
				A-1:A分岐有効電力 A-1:A分岐無効電力				-
				A-1:A分岐力率			-	-
ν	1	4-5		A-1:A分岐周波数			-	-
I				A-1:B分岐電圧			110	110
				A-1:B分岐有効電力			-	-
				A-1:B分岐無効電力			-	-
				A-1:B分岐月半 A-1:B分岐周波数			-	
ν	3	3-3		A-2:A分岐電流	単	4相2線2分岐	5	5
				A-2:A分岐電圧			110	110
1.	5	4-4		A-2:A分岐有効電力			-	-
	4	5-3		A-2:A分岐九率			-	-
				A-2:A分岐周波数			-	-
				A-2:B分岐電流			5	5
				A-2:B分岐有効電力			-	-
				A-2:B分岐無効電力			-	
•				· · · · · · · · · · · · · · ·				•
	_	·括削除		画面	面終了	スケールHI	5.00	ОК

		8		(1)				12	13	14)		
🚺 モニタ設定												×
インターフェース	スリスト J/F使)	用しない 💆		モニタ	開始	停止				モニタリスト	WTM_1	•
入力定格	1次側定格	スケールLOW	スケールHI	75-4LLOW	アラームLOW	アラームHI	アラームHHI	√ ⊐×2+	● 単位	¥ €=\$		
5	5	0.00	5.00									
110	110	0.00	110.00									
-	-	0.00	0.55								-	
-	-	45.00	65.00									
5	5	0.00	5.00 110.00								-	
-	-	0.00	0.55								-	
-	-	0.00	100.00								-	
- 5	- 5	45.00	65.00 5.00									
110	110	0.00	110.00								-	
-	-	0.00	0.55									
-	-	0.00	100.00									
- 5	- 5	45.00	5.00									
110	110	0.00	110.00									
-	-	0.00 0.00	0.55 0.55									-
•												•
	一括削除				画面総	17		スケールHI	5.0	0	C	к

- ① 設定するデータ行の"監視"欄をクリックすると、"監視"欄に"レ"を表示後、 行が黄色になりモニタ設定をします。
 ※監視 No、行-列、スケール LOW/HI (入力指定があるもの)は必ず指定してください。
 ※計測を行わない設定にされているチャンネルは灰色に表示され、モニタ設定は できません。
- ② 監視モニタ画面の監視画面 No と行 No/列 No を表示します。
- ③ モジュール登録ツールで登録したモジュールのモジュール種別名とモジュール名を 表示します。
 電力マルチメータ(WKM-PXシリーズ)の場合は高調波次数、高調波相/
 高調波相間情報を表示します。
 また電力マルチメータ(WKM-PXシリーズ)の高調波ユニットの各行
 に高調波相/高調波相間情報を表示します。
 ※高調波についての表示内容については付録1を参照してください。
- ④ モニタ可能なデータをすべて表示します。
 WRM/WRMP/WRMC/WRBC/WJF/WKM/WTMモジュールは
 データ名の前にユニットNo又はユニットNoーサブユニットNoを表示します。
 - ユニットNoについて

WRM/WRMP/WRMC/WRBA-DIO/WRBC/WKM=iu-niu=iu-niu=iu-niu=iu

モジュール	表示されるユニットN o
WRM	$A \sim D$
WRMP/WRBC/WRBA-DIO	А、В

※WRBC、WRBAモジュールのユニットA, Bは以下のチャンネルを表します。

モジュール	ユニットA	ユニットB
WRBC-DI	カウンタ入力	デジタル入力
WRBC-MAI	アナログ入力	測温体入力
WRBA-DIO	デジタル入力	デジタル出力

[※]電力マルチメータ(WKM-PAシリーズ)のユニットは以下のチャンネルを表します。

ユニット	ユニット	ユニット	ユニット	ユニット	ユニット	ユニット
A	B	C	D	E	F	G
現在電力	最大電力	最小電力	電力量	デジタル 入力	カウンタ 入力	時間積算

※電力マルチメータ(WKM-PXシリーズ)のユニットは以下のチャンネルを表します。

ユニット	ユニット	ユニット	ユニット	ユニット	ユニット	ユニット
A	B	C	D	E	F	G
現在電力	最大電力	最小電力	電力量	デマンド	高調波 電流	高調波 電圧

※Web対応エネルギー監視モジュール(WTM)のユニットーサブユニットは 以下のチャンネルを表します。

ユニットA-1	ユニットB−1	ユニットC−1	ユニットD−1
\int	∫	∫	∫
ユニットA-6	ユニットB−6	ユニットC−6	ユニットD−6
現在電力	最大電力	最小電力	電力量

※Web対応エネルギー監視モジュール(WTM-PE6LA)の場合、Eユニット以降 は以下のチャンネルを表します。

ユニット	ユニット	ユニット	ユニット	ユニット
E	F	G	Н	Ι
デジタル	カウンタ	時間積算	アナログ	測温抵抗
入力	入力		入力	

注意!

電力マルチメータの電流最大、電力最大、有効電力量、無効電力量はユニットAから ユニットCに存在します。各ユニットで、蓄積されるデータは全て同じです。 また、ユニットAからユニットCの有効電力量、無効電力量はそれぞれ、ユニットDに 存在する有効電力量(受電)と無効電力量(受電・遅れ)と同じです。

注意!

電力マルチメータ(WKM-PXシリーズ)のデマンド電流時限、デマンド電力時限の 設定と確認は、電力マルチメータ本体で行います。電力マルチメータ本体の操作方法に ついては、電力マルチメータ WKM-PX□□Nシリーズ デマンド・高調波対応 取扱説明書を参照してください。

注意!

電力マルチメータ(WKM-PXシリーズ)の高調波次数、高調波相/高調波相間の 設定は、モジュール登録ツール(WRS-NCFT)で行います。 モジュール登録ツール(WRS-NCFT)の操作方法については、 モジュール登録ツールの取扱説明書を参照してください。

- ※ジョイントモジュール(WJM□)は接続するWJFモジュールにより変化します。 又、WJF-PA2、WJF-PE4、WJF-PA34、WJF-DI16□□ の時は、サブユニットNoを表示します。
- ※インターフェース登録したジョイントモジュール(WJM□)に接続されている WJFモジュールは、同一ネットワーク内にインターフェース登録したジョイント モジュール(WJM□)でモニタ設定が可能です。

※小形電力監視マルチモジュール(WRMC)の場合、リアルタイムモニタ (WRS-MONH)の「ユニットNo」と、モジュールの「端子台名称」と、 WRMC設定表示器の「チャンネル表示」の対応表は以下になります。

相線区分	WRS- MONH ユニットNo	モジュール端子台 名称	WRMC設定表示器の チャンネル表示	形式
	А	1チャンネル	1	
三相3線	В	2チャンネル	2	
	С	3チャンネル	3	
	D	4チャンネル	4	חאח
	Е	5チャンネル	5	PASS
	F	6チャンネル	6	
	G	7チャンネル	7	
	Н	8チャンネル	8	
	А	1チャンネル	1	
単相3線	В	2チャンネル	2	
	С	3チャンネル	3	
	D	4チャンネル	4	P A 1 3
	Е	5チャンネル	5	
	F	6チャンネル	6	
	G	7チャンネル	7	
	Н	8チャンネル	8	
	А	1チャンネル	1	
	В	2チャンネル	2	
	С	3チャンネル	3	
	D	4チャンネル	4	
	Е	5チャンネル	5	
出力の約	F	6チャンネル	6	DA19
早112旅	G	7チャンネル	7	PAI2
	Н	8チャンネル	8	
	Ι	9チャンネル	9	
	J	10チャンネル	А	
	K	11チャンネル	b	
	L	12チャンネル	С	
	A	1チャンネル	1	
二相4 始	В	2チャンネル	2	ע פע ם
二,1日 4 形水	С	3チャンネル	3	гдз4
	D	4チャンネル	4	

- ⑤ WKD/WRM/WRMP/WRMC/WCD/WKM/WJF-PA2/ WJF-PE4/WJF-PA34/WTMモジュールの時に相線区分を表示します。
 単相2線、単相2線2分岐、単相2線220V(CT2ヶ所使用)、単相3線、三相3線、 三相4線と表示します。
- ⑥ WKD/WRM/WRMP/WRMC/WCD/WKM/WJF-PA2/ WJF-PE4/WJF-PA34/WJF-VT4/WJF-CT4/ WJF-AE8/WJF-IZ8/WTMモジュールの時に定格電圧または、 定格電流を表示します。
 定格電流:データ名が電圧要素の行に110または220を表示します。
 定格電流:データ名が電流要素の行に0.1、0.5、1、2、5、30、
 50、100、200、250、400、600のいずれかを表示します。
 ※WRMモジュールの定格電流は1Aまたは、5Aになり、WRMPモジュールの 定格電流は5A固定になります。詳細は(P65)の出荷時定格を確認してください。

WKD/WRM/WRMP/WRMC/WCD/WKMモジュールの時に
定格1次電流または、定格1次電圧を表示します。
1次側定格が未設定時は "***"を表示します。
※WRMC/WCDモジュールの定格電流が30、50、100、250、400、600Aの時は1次側定格に定格電流の値を表示します。

- ⑦ 一次側定格を表示します。
- ※ WJF-PA2/WJF-PE4/WJF-PA34/WJF-VT4/ WJF-CT4/WJF-AE8/WJF-IZ8モジュール時に⑦、⑧を ダブルクリックする事により定格設定画面を表示します。
- ⑧ 各データのスケール値を表示します。
 "***":必須入力
 "-":指定不可
 空白:スケール計算後に値を表示
- ⑨ モニタリストには、モジュール登録ツールで登録したモジュールのモジュール名を 表示します。
- ① インターフェースモジュールの一覧と"I/F使用しない"を表示します。 指定したインターフェースと同一ネットワークのモジュールを画面に表示します。
 "I/F使用しない"指定時はモジュール登録ツール(WRS-NCFT)で
 "インターフェースを使用しないで登録"で登録したジョイントモジュール(WJM□)、 またはWeb対応エネルギー監視モジュール(WTM)を表示します。

各データのアラーム値を表示します。

アラーム値の設定が無い場合は空白になります。

- ※小数点桁数表示を指定した場合、指定した小数点以下の数値は四捨五入されて表示します。 アラーム設定のデータは、四捨五入前のデータを使用しています。
- 22 コメントを表示します。
- 単位を表示します。
- ④ モニタしているモジュールのデータを青色で表示します。

8-4-2. モニタ新規設定

- 【1】インターフェースリストより使用するインターフェースモジュールを指定します。
 インターフェースモジュールを使用しない場合は"I/Fを使用しない"を選択します。インターフェースモジュールを指定した場合は、指定したインターフェースと同一ネットワークのモジュールを画面に表示します。
 "I/Fを使用しない"指定時はモジュール登録ツール(WRS-NCFT)で
 "インターフェースを使用しないで登録"で登録したジョイントモジュール
 (WIM□)またはWeb対応エネルギー監視モジュール(WTM)を表示します。
- 【2】監視No、行-列を設定します。
 - 設定方法には、以下の2通りの方法があります。 ・設定をしたい監視Noセル、行-列セルをクリックし、画面右下の データ入力欄より監視モニタの欄の位置を入力して設定します。 (例:1行目/2列目に設定したい場合「1-2」と入力します)
 - ・設定をしたい監視Noセル、行ー列セルをダブルクリックすると、
 監視モニタ画面を前面に表示します。監視モニタ画面でモニタ設定する欄を
 ダブルクリックすると、モニタ設定画面の監視No、行ー列に、指定した欄の
 位置を表示します。
- 【3】WKD/WRM/WRMP/WRMC/WCD/WKM/WJF-PA2/ WJF-PE4/WJF-PA34/WJF-VT4/WJF-CT4/ WJF-AE8/WJF-IZ8モジュールの1次側定格を入力します。
 - ●WKD/WRM/WRMP/WRMC/WCD/WKMモジュールの一次定格設定方法
 1次側定格が **** 表示のセルを指定します。

画面右下の入力BOXが水色になり入力可能になります。

OK

1次側定格

1次側定格の値を入力し、『OK』をクリックします。

(または、Enterを押します。)

設定範囲: 0.01~10000000 最大小数点桁数=2桁

WRM/(WRMP-PALP以外のWRMP)/WKM/WRMCモジュールの電圧の1次側定格指定はAユニットのみ指定します。 電流の1次側定格指定は、電力チャンネルごとの指定になります。

○相線区分と1次側定格の "***" 表示のデータは下記の関係になります。

機器相線区分		一次側定格が"***"で表示される項目					
単相2線	電流	電圧	電流最大(※1)	デマンド電流(※2)	総合高調波電流(※2)		
単相3線	1相電流	1-N電圧	1相電流最大(※1)	デマンド1相電流(※2)	総合高調波電流(※2)		
三相3線	R相電流	R - S 電圧	R相電流最大(※1)	デマンドR相電流(※2)	総合高調波電流(※2)		
三相4線	R相電流	R-N電圧					

% 1 WKM - PA / WKM - PX

※2 WKM−PXのみ

- ●WJF-PA2/WJF-PE4/WJF-PA34/WJF-VT4/
 WJF-CT4/WJF-AE8/WJF-IZ8モジュールの一次定格設定方法
- ユニット
 B-1
 ▼

 相線区分
 ■3
 ▼
 ①

 定格電圧
 220
 ▼
 定格→次電圧
 220

 ↑
 定格→次電流
 5
 A ←
 ④

 ②
 ○K
 画面終了
- ・WJF-PA2/WJF-PA34モジュールの場合

①相線区分を変更します。

現在設定されている相線区分を表示します。

WJF-PA2の場合、『単3』、『三3』を表示します。

WJF-PA34の場合、『三4』を表示します。

WJF-PA2は単相3線、三相3線に変更が可能です。

例) 単相3線→三相3線に変更する時は『単3』から『三3』に変更してください。

②定格電圧を変更します。

現在設定されている定格電圧を表示します。

定格電圧は、110、220Vの中から選択してください。

③定格一次電圧を変更します。

現在設定されている定格一次電圧を表示します。 定格一次電圧は、定格電圧~77000Vの範囲で設定してください。

④定格一次電流を変更します。

現在設定されている定格一次電流を表示します。 定格一次電圧は、1~9000Vの範囲で設定してください。

• W J F – P E 4

	🔥 定格設定							×
	ユニット	A-1	Y					
	相線区分		<u>=</u> 3 -	←	1			
	入力電圧回路	回路	1 🗾	\leftarrow	2			
3 -	──> 定格電圧		220 💌 🕚	/ 定格一)	次電圧 22	0	∨ ← ⑤	
4 -	──> 定格電流		250 💌 /	A 定格一)	次電流 25	0	▲ ← ⑥	
					ОК		面面終了	
				_				

①相線区分を変更します。

現在設定されている相線区分を表示します。

『単3』、『三3』を表示します。

単相3線、三相3線は変更が可能です。

例) 単相3線→三相3線に変更する時は『単3』から『三3』に変更してください。

②入力電圧回路を変更します。

現在設定されている入力回路を表示します。 回路1、2の中から選択してください。

③電圧を変更します。

現在設定されている定格電圧を表示します。

110、220Vの中から選択してください。

④定格電流を変更します。

現在設定されている定格電圧を表示します。 5、50、100、250、400、600Aの中から選択してください。 ※400A、600Aは、WJF-PE4-□□□A□がWJMEのメインユニット に接続されている場合に表示します。 ⑤定格一次電圧を変更します。

現在設定されている定格一次電圧を表示します。 定格一次電圧は、定格電圧~77000Vの範囲で設定してください。

⑥定格一次電流を変更します。

現在設定されている定格一次電流を表示します。 定格一次電流は、定格電流~9000Aの範囲で設定してください。

• W J F – V T 4

🛃 定格設定		×
고드ット 🔽		
定格一次電圧1	110 V	
定格一次電圧2	110 V	
定格一次電圧3	110 V C U	
定格一次電圧4	[110 V J	
	OK 画面終了	

①定格一次電圧を変更します。

現在設定されている定格一次電圧を表示します。 定格一次電圧は110~77000Vの範囲で設定してください。

	• W J F – A E 8			
	🚮 定格設定			×
	고드ット 📙	Y		
	✓ 定格電流1、2	250 - A	定格一次電流1 定格一次電流2	250 250
1	定格電流3、4	250 💌 A	定格一次電流3 定格一次電流4	250 250
	定格電流5,6	250 💌 A	定格→次電流5 定格→次電流6	250 250
	定格電流7,8	250 💌 A	定格一次電流7 定格一次電流8	250 250
			OK	画面終了

①定格電流を変更します。

現在設定されている定格電流を表示します。

5、50、100、250Aの中から選択してください。

②定格一次電流を変更します。

現在設定されている定格一次電流を表示します。 定格一次電流は、定格電流~9000Aの範囲で設定してください。

• W J F – C T 4

🔥 定格設定		×	1
고드ット	B		
定格一次電流1	5	A	
定格一次電流2	5		
定格一次電流3	5	A	
定格一次電流4	5	A	
		OK 画面終了	

①定格一次電流を変更します。
 現在設定されている定格一次電流を表示します。
 定格一次電流は、定格電流は1~9000Aの範囲で設定してください。

WJF-IZ8ユニットの定格設定

ļ	<mark>。</mark> 定格設定			×
	고드ット	A		
	定格電流1、2	2 💌 A	定格一次電流1 定格一次電流2	2
1	_ 定格電流3、4	2 💌 A	定格一次電流3 定格一次電流4	2 2
	定格電流5,6	2 💌 A	定格一次電流5 定格一次電流6	2 (2) (2)
	定格電流7,8	2 v A	定格一次電流7 定格一次電流8	2
			ОК	画面終了

- 定格電流を変更します。
 表示されている値は現在設定されている定格電流値です。
 定格電流は0.1、0.5、1、2Aの中から選択してください。
- ② 定格一次電流を変更します。 表示されている値は現在設定されている定格一次電流値です。 定格一次電流は、0.1~9000Aの範囲で最大小数桁数3桁で 設定してください。

定格設定後に自動計算を行い各データのスケールを表示します。

スケール計算は以下のように計算しています。

○電流データ

スケールHIに定格1次電流の値を表示します。

〇電圧データ

・相線区分が単相3線の時の1-2電圧

- スケールHIに定格1次電圧×2の値を表示します。
- ・相線区分が三相4線の時のR-N電圧、S-N電圧、T-N電圧 スケールHIに定格1次電圧/ $\sqrt{30}$ の値を表示します。
- ・その他の電圧データ

スケールHIに定格1次電圧の値を表示します。

〇電力データ

スケールHIに以下の式の値を表示します。 単位はkW/kVarになります

・単相2線

定格1次電流×定格1次電圧×(1/1000)

- ・単相3線
 定格1次電流×定格1次電圧×2×(1/1000)
- ・三相3線、三相4線
 定格1次電流×定格1次電圧×√3×(1/1000)

〇電力量データ (WRM・WRMPモジュール)

WRM-PA□□□/WRM-PE□□□/WRMP-PA□□モジュールは 以下の出荷時定格の定格電圧と定格電流で電力量の積算を行っているので、 スケールLOWに以下の式の値を表示します。 単位はkWh/kVarhcx of the transformed of transformed of the transformed of transformed of transformed of the transformed of the transformed of transformed of the transformed of transform

 ・WRM-PA□□F/WRM-PE□□□/WRMP-PAモジュール時 (モジュールの電力量単位がkWh/kVarh)

定格1次電圧	\checkmark	定格1次電流
定格電圧	~	定格電流

WRM-PA□□Tモジュール時

(モジュールの	電力量単位がWh/	´V a	rh)
---------	-----------	------	-----

定格1次電圧	\sim	定格1次電流	_ X.	1
定格電圧	~	定格電流	- //	$1 \ 0 \ 0 \ 0$

パラメータ設定ツール(WRS-PMD-2)で定格1次電圧値、 定格1次電流値を設定した場合と、LonMaker for Windowsで SNVTsの定格1次電圧(Volt_MaxRange)と、定格1次電流(Amp_MaxRange)を 設定した場合はスケール係数を"1"にしてください。

※出荷時定格

シリーズ名	形式	定格電圧 (V)	定格電流(A)
WRM-PA	WRM-PA 🗆 🗆 🗆 -11 🗆 🗆	110	1
	WRM-PA□□□-21□□□	220	1
	WRM-PA 🗆 🗆 -15 🗆 🗆	110	5
	WRM-PA□□□-25□□□	220	5
WDM_DE	WRM-PE□A□-1□□□□	110	5
WKM-PE	WRM-PE□A□-2□□□□	220	5

シノリューブタ	長十	定格電圧(V)		定格電流(A)	
シリース名	TF IC	ユニット A	ユニット B	ユニット A	ユニット B
	WRMP-PA 🗆 🗆 - 1 🗆 🗆 - 🗆 🗆	110	110	5	5
WRMP-PA	WRMP-PA 🗆 🗆 - 2 🗆 🗆 - 🗆 🗆	220	220	5	5
WRMP-PALP	WRMP-PALP -1	110	110	5	5
	WRMP-PALP -2	220	110	5	5

⚠注意

WKD/WRMC/WCDモジュールの電力量の単位はkWhになっています。 下記の場合、有効・無効電力量の小数点以下を"0"と表示します。

・単相3線で(定格1次電流×定格1次電圧×2)の値が1160kW以上の場合

・三相3線で(定格1次電流×定格1次電圧×2×COS30°)の値が1006kW以上の場合

⚠注意

WKMモジュールの電力量の単位は下記のようになっています。

・電力の値が964.506kW未満の場合、電力量の単位はkWhになります。

・電力の値が964.506kW以上、964506kW未満の場合
 電力量の単位はkWhになり、有効・無効電力量の小数点以下を"0"と表示します。
 ・電力の値が964506kW以上の場合、電力量の単位はMWhになります。

⚠注意

WTMの電力量の単位は下記になっています。

・電力の値が964.506kW未満の場合、電力量の単位はkWhになっています。

・電力の値が964.506kW以上場合、電力量の単位はMWhになっています。

【4】スケールLOW/HIまたは、スケール係数の設定を入力します。

スケールLOW/HIの設定

スケールLOW/HIが"***"表示のセルを指定します。 画面右下の入力BOXが水色になり入力可能になります。

スケールLOW	0.00	ок	

スケールLOW/HIの値を入力し、『OK』をクリックします。 (または、Enterを押します。) 設定範囲:-100000000~100000000 最大小数点桁数=2桁

スケール係数の設定

カウンタ入力データの時にスケールLOWが "***"表示のセルを指定します。 画面右下の入力BOXが水色になり入力可能になります。

スケール係数		ОК	
--------	--	----	--

スケール係数の値を入力し、『OK』をクリックします。 (または、Enterを押します。) 設定範囲:-100000000~100000000 最大小数点桁数=3桁

【5】アラームLLOW/LOW/HI/HHIを入力します。

アラームLLOW/LOW/HI/HHIのセルを指定します。

画面右下の入力BOXが水色になり入力可能になります。

75-ALOW OK

アラームLLOW/LOW/HI/HHIの値を入力し、『OK』をクリック します。(または、Enterを押します。)

設定範囲:-10000000~10000000

アラームLLOW<アラームLOW<アラームHI<アラームHHI 最大小数点桁数=2桁

※デジタルデータはアラームLOW/HIに0又は1で設定してください。

【6】コメントを入力します。

コメントのセルを指定します。 画面右下の入力BOXが水色になり入力可能になります。

	ок	
コメントの値を入力し、	『OK』をク	/ リックします。
		(または、Enterを押します。)

設定範囲	:	半角	20	文字以内
	•		20	~ 1 ~ 1

※コメントは監視モニタ画面のモニタデータの下のセルに表示します。

【7】単位を指定します。

単位のセルを指定します。

画面右下の単位リストを表示し単位が選択可能になります。

単位	□ 任意		-	ок
		V kW kWh kVar kVarh % Hz		

単位を指定し、『OK』をクリックします。(または、Enterを押します。)

単位リストに設定する単位が無い場合、『任意』にチェックを入れ、単位リストに 単位を入力後、『OK』をクリックします。(または、Enterを押します。) 次回選択時から単位リストに表示します。

設定文字数:半角8文字以内

※単位は監視モニタ画面にモニタデータの後ろに表示します。

【8】モニタ設定を決定します。

蓄積設定するデータの"監視"欄をクリックします。設定した監視欄に"レ" を表示し行が黄色になります。又、指定した監視モニタ画面の監視No、行-列 のセルが黄色になります。(モニタ設定画面表示時のみ)

【9】『画面終了』をクリックすると本画面は終了します。

8-4-3. モニタ設定変更

- 【1】設定を変更したい欄をクリックします。
- 【2】設定を変更しますと、設定変更確認メッセージが表示されます。
- 【3】『OK』をクリックするとモニタ設定を更新します。

8-4-4. モニタ設定削除

- 【1】モニタを行うデータを削除する場合、該当データの"監視"欄の "レ"をクリックすると削除確認メッセージを表示します。
- 【2】『OK』をクリックするとモニタ設定、蓄積ファイルを削除します。
- 【3】設定内容の表示を消去し行が白色になります。又、指定した監視モニタ画面の 監視No、行-列のセルが白色になります。

8-4-5. モニタ設定 モニタ開始/停止

🔥 モニタ設定									×
インターフェーン	スリスト [LGL-1	V		モニタ	開始	停止	÷=	:タリスト P12-	1 💌
スケールLOW	スケールHI	75-4LLOW	75-4LOW	アラームHI	7∋−днні	רעא⊏	単位	モニタ	
1.000	-					受電バルス	kWh	1	
***	-							2	
0.00	100.00	90.00	95.00	105.00	110.00	動力 R相電流			

- 【1】 インターフェースリストから使用するインターフェースを指定します。
- 【2】 モニタリストからモニタするモジュールを選択します。 選択されたモジュールは、画面の先頭に表示されます。
- 【3】 開始ボタンをクリックすると、対象モジュールの全てのデータを表示します。 文字色は青色で表示されます。 スケール設定がある場合には、スケーリングした値をモニタに表示します。 スケール設定がない時は、スケーリングを行いません。
- 【4】 停止ボタンをクリックすると、モニタを停止し、データの文字色を黒色にします。

※インターフェースモジュールとの接続はモジュール登録ツール(WRS-NCFT)で インターフェースモジュールを登録した時の接続情報で接続します

8-4-6. 一括削除

- 【1】モニタ設定画面の『一括削除』をクリックすると削除確認メッセージを 表示します。
- 【2】削除確認画面の『OK』をクリックすると全てのモニタ設定、蓄積ファイルを 削除します。
- 【3】全ての設定データの表示を消去し行が白色になります。又、全ての監視モニタ画面の 監視No、行-列のセルが白色になります。

8-5. 監視モニタ

8-5-1. 監視モニタ画面

8-4でモニタ設定を行うと、下記の画面を表示します。

🚮 リアルタイムモニタ					_ 🗆 🗵
ファイル (E) ツール (I) 影	赞定(<u>C</u>) ヘルプ(出)		- グラフ表示		
	警幸	最発達転通知力ウンタリセット	前面 背	面 開始	停止
					,
監視1	監視2	監視3	監視4	監視5	1
受電バルス	動力 R相電流	動力 有効電力量	警報1		
	動力 S相電流	動力 無効電力量	警報2		
	動力 T相電流				
	動力 R-S電圧				
	動力 S-T電圧				
	動力 T-R電圧				
	動力 有効電力				
	動力 無効電力				
	動力 力率 ・	<	- データ表示	行	
	動力 周波数				
 モニタ停止中	警報発報通知監視	中 警報発報)	通知件数 0件	空き容量:3,175,552KB	05/06/14 13:10
			,		

コメント行

8-5-2. 監視モニタ モニタ開始/停止

開始ボタンをクリックすると、モニタを開始し下記の画面のようになります。

⚠注意

簡易モニタ表示中とモニタ設定中は、監視モニタの開始ボタンを押さないでください。

🚮リアルタイムモニタ					
ファイル(E) ツール(I) 🎚	設定(C) ヘルプ(H)		パニウキニ		
		*F722*F71655555515115[(= 1
		*R96*R100大ロカワノンが972ット			1\$_IE
			馬視4		1
		500111			<u> </u>
	+	532kWh	UFF		
受電バルス	動刀 R相電流	動刀 有効電刀量	警戒		
	+	123kVarh	ON	\leftarrow	
	動力 S相電流	動力 無効電力量	警航2		3
	+	\leftarrow			
	動力 T相電流		(2)		
	220V				
	動力 R-S電圧				
	222.2V				
	動力 S-T電圧				
	215.6V	←	4		
	動力 T-R電圧				
	+				
	動力 有効電力				
	+				
	動力 無効電力				
	+				
	動力 力率				
	50Hz				
	動力 周波数				
モニタ中	警報発報通知監袖	現中 警報発報	通知件数 0件	空き容量:3,174,384KE	3 05/06/14 13:12

※インターフェースモジュールとの接続はモジュール登録ツール(WRS-NCFT)で インターフェースモジュールを登録した時の接続情報で接続します

①通信異常発生時"--"を表示します。

②無効データ取得時"+"を表示します。 (モジュール側でデータの準備が出来ていない場合に表示します。)

③デジタルデータで表示方法が ON/OFF 表示の場合に ON/OFF 表示をします。
 0/1 表示の場合は 0/1 表示をします。

④モニタデータがアラーム設定値以上(HI/HHI)又は以下(LLOW/LOW)に になった場合データのセル色をアラーム設定で設定した色に変更します。

- ⑤モニタデータがアラーム設定値以上(HI/HHI)又は以下(LLOW/LOW)に になった場合アラームが発生した監視画面のタブに[エラー]を表示します。 また、アラーム設定画面で「アラーム発生時の画面切り替えをする」に設定して いる場合には、優先順位に従ってアラームが発生した監視画面に自動切換します。
- ※ アラーム設定値以上(HI/HHI)又は以下(LLOW/LOW)になった場合、 10秒間隔で『コントロールパネル』の『サウンド』で『メッセージ(警告)』に設定され ているサウンドを鳴らします。

Â	注	音
111		AEN-

モニタデータの更新はインターフェースモジュールの通信速度に依存します。
ジョイントモジュール (WJM)の場合は1秒間に4回
リアルリンクネットワーク上のモジュールと通信ができます。
1台のモジュールの中に複数のユニットがある機種ではユニットごとに1回の通信
を行いますのでその分を加算してください。
ただし同ーユニット内の要素は1回の通信で取得していますので加算は不要です。
例
①ユニットのない 300 台のモジュールを各1要素ずつ登録した場合は約75秒かかります。
②ユニットを2つ持つ150 台のモジュールをユニットごと1要素登録した場合は約75秒かかります。

④ユニットを2つ持つ150台のモジュールをユニットごと2要素登録した場合は約38秒かかります。

8-6. グラフ表示

※MSDEをインストールしていない場合、グラフ表示はできません。

8-6-1. グラフについて

- ・メータ、バーグラフ、デジタルの3種類のグラフがあります。
- ・グラフはトータル30個まで表示することができます。
- ・各グラフは自由にサイズを変更することができます。
- ・一つのデータに対し複数の同一グラフ表示は出来ません。
- ・メータ、バーグラフのスケール設定は、モニタ設定で設定したスケール値がある場合は グラフの表示スケールを設定して表示します。スケール値が無い場合は最小レンジ値=0 最大レンジ値=100として表示します。
- ・メータ、バーグラフのアラーム設定は、モニタ設定で設定したアラームLOW/HI
 設定値を使用します。又、アラーム色はアラーム設定画面で設定したアラームLOW/ HIの色を使用します。
- ・デジタルの文字色、背景色は環境設定画面のデジタル表示色で設定した色を表示します。
- ・デジタルのアラーム表示は、アラーム設定画面で設定したアラームLLOW/LOW/ HI/HHI色をアラーム発生時にデータの文字色に反映します。

注意!力率のグラフ表示について

カ率データをメータ、バーグラフで表示する場合、センターを1にして進み/遅れを 表示することは出来ません。

8-6-2. グラフ表示方法

マウスでグラフを表示するデータを指定後、右クリックすると下記の画面を表示します。

「監視1 [エラー] 】	監視2	監視3
1kWh	95A	5532kWh
受電バルス	動力 R相電流	メータ表示
	997	バーグラフ表示 1
	動力 S相電流	デジタル表示
	101 Ā	

・メータ表示を選択すると下記の画面を表示します。



・バーグラフ表示を選択すると下記の画面を表示します。



・デジタル表示を選択すると下記の画面を表示します。

動力 R相電流	×
	95A

8-6-3. グラフのプロパティ

※デジタルグラフにはプロパティはありません。

○メーターのプロパティ

マウスでグラフの左上にある「プロパティ」をクリックすると、下記の画面を表示します。

・メータ設定

CONTEC ACX Analog Meter Controlのプロパティ		<u>? ×</u>
「メータ設定」アラーム設定 フレーム設定 スケーノ	ル設定 フォント	
フォーマット 〇 四角 〇 円 メータ基準方向 〇 下方向 〇 左方向 〇 下方向 〇 左方向 〇 上方向 〇 右方向 スケール角度: 230 表示レンジ 日 最大レンジ値: 100 背景色: 100	指針設定 指針形状 ○線 ○三角 ○矢印 指針の長さ ○短い ○標準 ○長い 指針の太さ: 5 ▼ 指針色:	
ОК	キャンセル 適用(点) ヘル:	9

- フォーマット・・・表示フォーマットを設定します。
- ・ メータ基準方向・・アナログメータの基準方向を設定します。
- ・ 表示レンジ・・・・表示範囲を設定します。
- ・ 背景色・・・・・アナログメータ背景色を設定します。
- ・ 指針形状・・・・・指針の形状を設定します。
- ・ 指針の長さ・・・・指針の長さを設定します。
- ・ 指針の太さ・・・・指針の太さを設定します。
- ・ 指針色・・・・・指針の色を設定します。
- OK・・・・・・ダイアログボックスを閉じ、変更を保存します。
- ・ キャンセル・・・・設定内容を保存せずにダイアログボックスを閉じます。
- ・ 適用・・・・・・ダイアログボックスを開いたまま、変更を保存します。
- ヘルプ・・・・・プロパティのヘルプを表示します。
・アラーム設定

CONTEC ACX Analog Meter Controlのプロパティ		? ×
メータ設定 アラーム設定 フレーム設定 スケール設	定「フォント」	
▼ラームチェック アラーム値 ローアラーム値: ハイアラーム値: 80	- アラーム状態 - 「非表示 © 表示 - アラーム色 ローアラーム色: ハイアラーム色:	
ОК	キャンセル 適用(<u>A</u>) ヘル	7

- アラームチェック・・アラームチェックの有無を設定します。
- アラーム値・・・・アラーム値を設定します。
- ・ アラーム状態・・・アラームの表示方法を設定します。
- アラーム色・・・・アラーム色を設定します。
- ・フレーム設定

CONTEC ACX Analog Meter Controlのプロパティ	? X
メーダ設定 アラーム設定 フレーム設定 スケール設定 フォント ● 固定比率 ● フォント優先 タイトル表示 フレーム ● フレーム形式 ● タイトル表示 ● フレーム形式 ● タイトルなし ● 上に表示 ● フレームなし ● フレームなし ● 中央に表示 ● スワレーム ● フレームなし ● マレームなし ● スワントム ● スワント ● マレームなし ● スローム ● フレーム ● フレーム ● スローム ● フレーム ● マレーム ● スローム ● マレーム ● マレーム ● スローム ● マレーム ● マレーム ● 「東京線の表示 ● クレーム ● クレーム	
	プ
 ・レイアウト・・・フレームのレイアウトを設定します。 ・フレーム・・・・フレームの表示方法と色を設定します ・境界線の表示・・・境界線(枠)表示の有無を設定します。 ・境界線色・・・・・境界線(枠)の色を設定します。 ・タイトル・・・・タイトルの表示位置を設定します。 	- 0 -

・ タイトル・・・・タイトル文字と色を設定します。

・スケール設定

CONTEC ACX Analog Meter Controlのプロパティ	?×
CONTEC ACX Analog Meter Controlのプロパティ メーダ設定 アラーム設定 フレーム設定 スケール表示 スケール表示なし ・ 内側 ・ 小側 スケール色: ・ ・ スケール数: 6 ・ サブスケール数: 1 ・	? × スケール文字 ○ 文字表示なし ○ 値で表示 ○ %で表示
OK	キャンセル 適用(公) ヘルプ

- ・ スケール表示・・・スケールの表示位置を設定します。
- ・ スケール色・・・スケール色(文字とスケール)を設定します。
- スケール数・・・・メインスケール数を設定します。
- サブスケール数・・サブスケール数を設定します。
- ・ スケール文字・・・スケール文字の表示形式を設定します。
- ・ 小数点以下桁数・・スケール文字の小数点以下の桁数を設定します。

・フォ	ン	\mathbb{P}
-----	---	--------------

CONTEC ACX Analog Meter Controlのプロパティ	<u>? ×</u>
メータ設定 アラーム設定 フレーム設定 スケール設定 フォント	
プロパティ名(№): ScaleFont フォント名(F): スタイル(Y): サイズ(S):	
MS ゴシック 本字 ■ 9.75 ■ 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	
MS Sans Serif MS Serif サンゴル	
Image: Imag	
のK *ャンセル 適用(A)	

フォント・・・・グラフとタイトルのフォントを指定します。

○バーグラフのプロパティ

マウスでグラフの左上にある「プロパティ」をクリックすると、下記の画面を表示します。

・メータ設定



- ・ 表示スタイル・・・・表示スタイルを設定します。
- ・ レベルメータ基準点・・レベルメータの基準点を設定します。
- ・ 表示色・・・・・レベルメータ色と背景色を設定します。
- ・ 表示レンジ・・・・表示範囲を設定します。
- OK・・・・・・ダイアログボックスを閉じ、変更を保存します。
- ・ キャンセル・・・・設定内容を保存せずにダイアログボックスを閉じます。
- 適用・・・・・・ダイアログボックスを開いたまま、変更を保存します。
- ヘルプ・・・・・プロパティのヘルプを表示します。

・アラーム設定

CONTEC ACX Level Meter Controlのプロパティ	<u>? ×</u>
CONTEC ACX Level Meter Controlのプロパティ メータ設定 アラーム設定 フレーム設定 スケール設定 フォント ▼ アラームチェック アラーム値: 30 ハイアラーム値: 90 アラーム: 0 アラーム ○ おで ○ 色で アラーム ハイアラーム	 ? <li< th=""></li<>
OK キャンセル	」 適用(<u>A</u>)へルプ

- アラームチェック・・アラームチェックの有無を設定します。
- アラーム値・・・・アラーム値を設定します。
- ・ アラーム表示・・・アラームの表示方法を設定します。
- アラーム色・・・・アラーム色を設定します。

・フレーム設定

CONTEC ACX Level Meter Controlのプロパティ		<u>? ×</u>
 メータ設定 アラーム設定 フレーム設定 スケー レイアウト ・ 固定比率 ・ フォント優先 ・ フレーム ・ フレームなし ・ 2Dフレーム ・ 3Dフレーム ・ フレーム色: ・ 境界線の表示 ・ 境界線色: 	-ル設定 フォント タイトル表示位置 〇 タイトルなし ④ 下に表示 ③ 上に表示 タイトル: D-2 タイトル色:	
ОК		,7
・ レイアウト・・・フレー	ームのレイアウトを設定します。	

- フレーム・・・・フレームの表示方法と色を設定します。
- ・ 境界線の表示・・・境界線(枠)表示の有無を設定します。
- ・ 境界線色・・・・・境界線(枠)の色を設定します。
- ・ タイトル・・・・タイトルの表示位置を設定します。
- ・ タイトル・・・・タイトル文字と色を設定します。

・スケール設定

CONTEC ACX Level Meter Controlのプ	'םא ל דיר	<u>? ×</u>
メータ設定 アラーム設定 フレーム設定	定 スケール設定 フォント	
- スケール表示位置	- スケール文字	
○ スケール表示なし	○ スケール文字表示なし	
○ 左に表示	 値で表示 	
 ● 右に表示 	○ %で表示	
スケール色:	小数点以下桁数: 0	
スケール数: 3	×	
サブスケール数: 1	×	
	OK をW-#2世 液田(小)	

- ・ スケール表示位置・・・スケールの表示位置を設定します。
- スケール色・・・・・スケール色(文字とスケール)を設定します。
- スケール数・・・・・メインスケール数を設定します。
- サブスケール数・・・・サブスケール数を設定します。
- ・ スケール文字・・・・スケール文字の表示形式を設定します。
- ・ 小数点以下桁数・・・・スケール文字の小数点以下の桁数を設定します。

・フォント

CONTEC ACX Level Meter Controlのプロパティ	<u>? ×</u>
メータ設定 アラーム設定 フレーム設定 スケール設定 フォント	
プロパティ名(N): ScaleFont 🗨	
フォント名(E): スタイル(Y): サイ): MS ゴシック 標準 ▼	≭(<u>©):</u> ▼
MS Sans Serif MS Serif 予 MS UI Gothic 可 MS ゴシック 本A&BbY:	下線(<u>U</u>) /Zz
 OK キャンセル	適用(位) ヘルプ

フォント・・・・グラフとタイトルのフォントを指定します。

8-7. 簡易モニタ

8-7-1. 簡易モニタ画面

指定したモジュール内にある全てのデータをモニタすることができます。 簡易モニタの為、スケーリング機能はありません。

プルダウンメニュー「ツール」から『簡易モニタ』を指示すると、以下の画面を表示します。

」ファルタイムモニタ	
ファイル (E) ツール (I) 設定 (C) ヘル	
簡易モニタ(M)	
画面印刷 (<u>P</u>)	
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
COMPANY THE	1
🥵 簡易モニタアドレス設定 🗵	
通信インターフェース	
💿 RS232C COM1 🔽 🗖 TEL	── 電話番号指定
⁰ ^{1−949} ^µ ^µ ¹⁹² · ¹⁶⁸ · ^µ · ^µ ⁰ ←	— I P アドレス指定
	ット/モジュール 指定
○ Neulon-ID 00000000000 ← ニュー	ロン I D 指定
表示 画面終了	

8-7-2. 簡易モニタ設定

【1】 通信インターフェースを指定します。

○RS232Cを使用する場合

使用するCOMポートを指定します。

公衆回線を使用する場合TELにチェックを入れ電話番号を入力します。

○イーサネットを使用する場合

IPアドレスを指定します。

- 【2】 アドレス指定をします。
 - ○サブネットNo/モジュールNo指定の場合
 サブネットNo/モジュールNoを指定します.
 (出荷時設定:サブネットNo:1、モジュールNo:1)
 設定範囲: サブネットNo 1~9
 モジュールNo 1~126
 又は(サブネットNo=0 且つ モジュールNo=0)
 - ※LONWORKS通信機能が無いジョイントモジュール(WJM□-B)又は モジュール登録ツール(WRS-NCFT)で"インターフェースを使用しないで 登録"したジョイントモジュール、またはWeb対応エネルギー監視モジュールの 場合はサブネットNo=0、モジュールNo=0を指定してください。
 - - ※ニューロン I D はモジュールの注文時の指定により,モジュール本体に ニューロン I D シールが貼られます。
- 【3】「表示」をクリックします。
 - ※サブネットNoとモジュールNoを指定して「表示」をクリックすると、指定した モジュールのニューロンIDを自動的に表示します。
 - ※ニューロンIDを指定して「表示」をクリックすると、指定したモジュールの サブネットNoとモジュールNoを自動的に表示します。

8-7-3. 簡易モニタ表示

指定したモジュールのデータを表示します。

🅵 簡易モニタ										×
	データ1	7°−92	7°−93	7°−%4	データ5	7~-%6	₸°97	<u>7°−</u> %8	<u>テ[°]-</u> %9	
チャンネルー1(A)	755611	11	6	11	44	23	8	24		
チャンネルー2(B)	0	0	0	0	0	0	0	0		
4										Þ
				正	面終了					

複数のユニット又はサブユニットを持つモジュールの場合には、

ユニット又はサブユニット数、行が追加表示します。

(上記は2つユニットがある場合です。)

※スケーリング機能はありません。
※ジョイントモジュール以外のインターフェースモジュールを使用して、電力マルチ
メータの簡易モニタ表示は、データが正しく表示されない為、
行わないでください。
※表示する内容は「小型信号多重伝送器 RiALLiNK RS232C・UDP/
IP通信仕様書」内の"RD"コマンドを参照してください。
ユニット、サブユニットがあるモジュールは行を変えて表示します。
デジタルデータは「0/1」又は「ON/OFF」で表示します。表示形式の設定は
8-2-5. データ表示設定で設定します。

⚠注意

簡易モニタ表示中とモニタ設定中は、監視モニタの開始ボタンを押さないでください。

表示データについて

🚮 簡易モニタ				×
<u>テ^ッータ1 チャンネルー1 (A)</u> チャンネルー2(B)	<u>7°-52</u> <u>7°-53</u> + + 	3 <u>7°−</u> 94 <u>7°−</u> 95 + + + + 	7°-76 7°-77 7°-78 7°-79 + + + + 	<u>7</u> ~
I		[▶
			 → 未使用データは空白 → 通信異常時のデータは"-" → 無効データは"+" 	

8-7-4. 簡易モニタ表示終了

簡易モニタにある『画面終了』ボタンをクリックします。 簡易モニタが終了し、簡易モニタアドレス設定を操作できるようになります。

8-8. 蓄積ファイル

監視モニタ、簡易モニタで表示したデータを指定した蓄積インターバルで蓄積ファイル に保存します。

※蓄積インターバルはパソコン内の時間の正時に同期します。

蓄積ファイルがあるディレクトリは、本プログラムをインストールしたディレクトリ内の「CSVFILE」の中です。

出荷時設定パス:

C: ¥RIALHOST¥MONH¥CSVFILE インストール時に指定したディレクトリです。 (P27 プログラムのインストールの【6】)

⚠注意

モニタ中に蓄積ファイルを開いた場合は、最後のデータは書き込み途中のものである 可能性があります。最後の行は無視してください。 完全なデータを確認するには、モニタを停止してから蓄積ファイルを確認してください。 ○監視モニタの蓄積ファイル名

ZZZZZZZZ	$\sim_{\rm YYYYYYY}$	$\mathbf{\tilde{X}XXXXXXXX}$	$\widetilde{WW} \widetilde{V}$. DAT
→監視タブ名	→モジュール名称	→チャンネル名 /	→データ種別
			└→ 行 No×10+列 No
		4 1=	ット (ーサブユニット)

例) 監視 1~WRM~R相電流~A~11~0. DAT

・監視タブ名	→ 蓄積をするデータを表示している	5監視画面のタブ名が入ります。				
		(監視1~5)				
・モジュール名	→ モニタ設定で設定したモジュール名が入ります。					
・チャンネル名	→ 設定したモジュールのデータ名が入ります。					
・ユニット	\rightarrow WRM/WRMP/WRMC/W	WR B A-D I O/WR B C/WKM				
	モジュール時又はジョイントモジ	ジュール時指定したユニットが入りま~	す。			
	W J F - P A 2 / W J F - P A 3	34 / WJF - PE4 /				
	$WJF - DII6 \sqcup \sqcup / WIM -$	モンュール時指正した A ります				
	モジュール	$\neg = \gamma + N \circ$				
	WRM	A~D				
	WKM	A~G				
	WRMP/WRBC/	А、В				
	WRBA-DIO					
	PA13	$A \sim H$				
	P A 3 3	A~H				
	P A 3 4	A~D				
	WJMD	$A-1 \sim H-4$				
	WIM	$\begin{array}{c} A - 1 \sim D - 6 \\ F \sim I \end{array}$				
	その他	<u> </u>				
・行No、列No	→ 蓄積をするデータを表示している	る監視画面の行、列の番号が入ります。	С			
・データ種別	→ データ種別が人ります。データ相	重別は、以下のようになります。				
	テータ種別	ファイル名				
	ハーセントナータ 雪力量データ(WKD/WR)	0 MC 1				
	/WCD/WKM/WJM)					
	電力量データ(WRM/WRM	AP) 2				
	カウントデータ	3				
	デジタルテータ	4				
	ノギ	Ð				

○監視モニタの蓄積ファイルデータフォーマット:

YYYY/MM/DD, HH:MM:SS, データ,単位
通信異常時のデータは"-"、無効データは"+" になります。
例)データが通信異常 2005/03/16,12:00:00,-

○監視モニタの蓄積ファイルサイズ

1 チャンネル
 1 0 0 0 0 件で約 5 0 0 kByte
 ハードディスクの空き容量は余裕を持って空いていることを確認してください。
 空き容量が無くなると監視モニタは停止します。

○簡易モニタの蓄積ファイル名

 YYYY MM DD HH MM SS - ユニットNo-サブユニットNo. Dat

 西暦 月 日 時 分 秒
 00~03 (4 サブユニットまで)

 → 00~15 (16 ユニットまで)

 著積開始時間 (年月日時分秒)

例) 2004年10月31日00時00分00秒 ユニットなしの場合 20041031000000-00-00.Datになります。

○簡易モニタの蓄積ファイルデータフォーマット:

※スケーリング機能はありません。

8-9. 自動蓄積データ削除

CSVFILEディレクトリに保存されている蓄積ファイルを指定した日時に バックアップディレクトリに移動します。

※現在までの蓄積ファイルのデータはCSVFILEディレクトリからなくなります。
※簡易モニタの蓄積ファイルと監視モニタの蓄積ファイルは同じバックアップフォルダに保存されます。

○バックアップディレクトリ名
 インストールしたディレクトリ内の「CSVFILE」の中に作成します。
 ディレクトリ名はYYYMMDDHHMMになります。

西暦 月日 時 分

例) 2004/10/19 10 時にバックアップを行った場合、バックアップディレクトリ名は 「200410191000」になります。

8-10. 系統図表示画面

プルダウンメニュー「ツール」から『系統図表示』を指示すると、下記画面を表示します。



「参照」をクリックすると下記の画面を表示するので表示するファイルを指定します。



※ビットマップ形式、JPEG形式、GIF形式のファイルを指定してください。

指定したファイルを画面に表示します。

系統図画面上には、任意にメータ、バーグラフ、デジタルグラフを配置することが出来ます。 配置位置は記憶され、次回以降も最後に表示した状態で表示されます。



※画面はサイズ変更可能です。 ※次回以降に系統図画面を表示する時は最後に参照で指定したファイルを表示します。

8-11. イベントログ

8-11-1. イベントログファイル

イベントログファイルは、本プログラムをインストールしたディレクトリ内にあります。 ファイル名は、Event. Logです。

出荷時設定パス:

 $C: \underline{\underline{YRIALHOST}}MONH\underline{Y}Event. Log$

インストール時に指定したディレクトリです。
 (プログラムのインストール参照)

8-11-2. イベントログ内容

イベントログファイルに書き込む内容は下記になります。

- ・ポートオープンエラー
 YYYY/MM/DD, HH: MM:SS, ポートオープンエラー (COM1~5、LAN)
- ・通信エラー
 YYYY/MM/DD, HH: MM: SS, 通信エラー, モジュール名称-(ユニットNo), コメント
- ・アラーム発生(LLOW/LOW/HI/HHI)
 YYYY/MM/DD, HH: MM: SS, アラーム(LLOW/LOW/HI/HHI)発生, 行, 列, モジュール名称-(ユニット No) -データ名, コメント, データ, アラーム設定値
- アラーム復旧(LLOW/LOW/HI/HHI)
 YYYY/MM/DD, MM:NN:SS, アラーム(LLOW/LOW/HI/HHI)復旧,行,列,モジュール名称-(ユニット No) -データ名,コメント,データ,アラーム設定値
- ・起動 YYYY/MM/DD,HH:MM:SS,起動
- ・終了 YYYY/MM/DD,HH:MM:SS,終了
- ・警報発報通知
 YYYY/MM/DD, HH:MM:SS → 通知メッセージ

8-11-3. イベントログクリア

プルダウンメニュー「ファイル」から『ログクリア』を指示すると、確認画面を 表示します。

🚺 リアルタイ	(4528	
ファイル (E)	ツール (I)	設
በታንትም (C)	
終了 (X)		

『OK』時ログファイルの中身をクリアします。

8-12. 画面印刷

プルダウンメニュー「ツール」から『画面印刷』を指示すると、確認画面を表示します。

確認		x
画面印刷を行い	ます	
OK	キャンセル	

『OK』時監視モニタ画面を印刷します。

8-13. 警報発報通知監視

環境設定で指定した、RS232C/LANポートを監視し、蓄積設定ツール

(WRS-PMS)より警報発報設定したジョイントモジュール (WJM□)からの

警報発報通知を監視します。警報発報通知受信時、受信したメッセージを画面に表示します。

● 警報発報通知
2005/06/14 13:19:14 → 2005/06/14,13:19:12,電流1,監視HI発生:(606/600),DO=ON{1/1
2005/06/14 13:19:23 → 2005/06/14,13:19:20,電流1,監視HI発生:(606/600),DO=ON{1/1
警報発報アラーム発生時間
警報発報通知受信時間
ОК

○アラーム音

警報発報通知受信後、10秒間隔でアラーム音が発生します。 アラーム音は、受信メッセージの「OK」ボタンをクリックしメッセージを 消去すると停止します。

○警報発報通知受信メッセージ自動消去

終了時間を0分以外に設定した場合、表示した画面を指定した時間で自動終了します。

警報発報通知メッセージ表示を表示後 🛛	分間後に終了する
(0分指定の	時は表示終了しません)

○プログラム起動

環境設定で「警報発報通知受信時指定したプログラムを起動する」にチェックし、 起動プログラムを指定すると、警報発報通知メッセージを受信した時に、指定した プログラムを起動します。

▶ 警報発報通知受信時指定したプログラムを起動する	4 m
C:¥WINNT¥NOTEPAD.EXE	

拡張子が(.EXE)の場合、二重でプログラムは起動しません。

※警報発報設定については蓄積設定ツール(WRS-PMS)の取扱説明書を参照してください。



<u>DO制御 {サブネットN o / モジュール No / ユニット No / サブユニット No, チャンネル No</u>} ↓ 出力状態 発生チャンネル

例) 警報発報アラームメッセージを「R相電流アラーム発生」、制御指示出力=ONに設定 し、2005年3月26日20時にアラームHIの設定値を超えた場合

2005/03/26, R相電流アラーム発生, 監視HI発生:

・西暦	\rightarrow	アラーム発生年
• 月	\rightarrow	アラーム発生月
• 日	\rightarrow	アラーム発生日
• 時	\rightarrow	アラーム発生時
・ 分	\rightarrow	アラーム発生分
・警報発報メッセージ	\rightarrow	『アラーム値設定、制御指示』で設定したメッセージ
・アラーム警報発報種別	\rightarrow	アラームHHIの時「監視HH発生」
		アラームHIの時「監視HI発生」
		アラームLOWの時「監視LO発生」
		アラームLLOWの時「監視LL発生」
		アラームON/OFFの時、「監視発生」
・アラーム発生値/設定値	\rightarrow	デジタルデータの時、(ON->OFF)、(OFF->ON)
		デジタルデータ以外のとき、(アラーム発生値/設定値)
・出力状態	\rightarrow	デジタル出力モジュールの出力状態がON、またはOFF
		デジタル出力状態を制御していない時ブランクです。
・発生チャンネル	\rightarrow	アラームが発生したサブネットNo、モジュールNo、ユニットNo、
		サブユニットNo、チャンネルNo

 $(2\ 2\ 0\ /\ 1\ 1\ 0)$, DO=ON $\{1\ /\ 1\ /\ B\ /\ 1\ ,\ 1\}$

8-14. プログラムバージョンの確認

プルダウンメニューの「ヘルプ」から『バージョン情報』を指示すると下記の画面を表示します。

🥵リアルタイムモニタ バージョン情報	×
リアルリンケット リアルタイムモニタ	
Copyright(C) 2005	システム情報(<u>S</u>)
渡辺電機工業株式会社	OK

『OK』をクリックすると、表示終了します。

8-15. プログラムの終了

本プログラムを終了します。

プルダウンメニューの「ファイル」から『終了』を指示すると、本プログラムは終了します。



8-16. エラーメッセージ一覧

【メッセージ】

ーアルファベットー

CSVファイルオープンエラー

→蓄積ファイルのオープンに失敗しました。 他のプログラムでファイルを使用しているか確認してください。

CSVファイル削除エラー

→蓄積ファイルの削除に失敗しました。 他のプログラムでファイルを使用しているか確認してください。

CSVファイル変更エラー

→蓄積ファイルのファイル名変更に失敗しました。 他のプログラムでファイルを使用しているか確認してください。

DB管理ツールが起動中です。プログラムを終了します。

→データベース管理ツールを終了後、本プログラムを起動してください。

D/Bがオープンできません

→ MSDEがインストールされていないため、データベースを使用することができません。
※簡易モニタ、警報発報通知監視のみ使用可能です

IPアドレスエラー

→正しい I P アドレスを指定してください。

-ア行-

アラームの指定が違います(-100000000~10000000)

→アラーム値を範囲外の値で設定しました。※-100000000~10000000 の範囲内で設定し直してください。

一括削除を行いますか

→モニタ設定画面で一括削除をクリックした際に表示します。※監視・蓄積設定を全て削除します。

ーカ行ー

画像を表示できません

→系統図のファイル形式が適切ではありません。正しいファイル形式のファイルを指定 してください

画面印刷を行います

→プルダウンメニューの「ツール」から「画面印刷」を指示すると表示します。

簡易モニタ、警報発報通知監視のみ使用可能です

→MSDEをインストールしていない状態で起動しました。 簡易モニタ、警報発報通知監視のみ使用可能です

監視Noの指定が違います(1~5)

→監視Noを範囲外の値で設定しました。 ※1~5の範囲内で設定し直してください。

監視No、行-列を設定してください。

→モニタ設定画面で"監視No"、"行ー列"のいずれかの列をダブルクリック した時に表示します。監視モニタ画面より設定する監視No、行ー列をダブルクリック してください。

行の指定が違います(1~10)

→行を範囲外の値で設定しました。 ※1~10の範囲内で設定し直してください。

コメント入力エラー(半角20文字以内)

→半角20文字より多く入力しました。
※半角20文字以内で入力してください。

ーサ行ー

サブネットNoエラー(1~199)又は(サブネットNo=0且つモジュールNo=0) →範囲外のサブネットNoを入力しました。

※1~199の範囲内又はサブネットNo=0且つモジュールNo=0で入力してください。

時間指定エラー

→範囲外の自動削除時間を入力しました。 ※0~23の範囲内で入力してください。

指定された監視No、行、列は既に設定されています

→指定した監視No、行、列は既に別のモニタ設定がされています。 ※監視No、行、列を変更して設定してください。

指定したインターフェースの通信ポートは警報発報通知監視で使用しています

→指定したインターフェースモジュールの通信ポートと警報発報通知監視で使用している 通信ポートが同一です。

※モニタ設定を行いたい場合は警報発報通知監視設定を変更してください。

指定のファイルが見つかりません

→警報発報通知受信時に起動するプログラムファイルが見つかりません。 ※適切なプログラムファイルを指定してください。

指定のファイルは起動できません

→警報発報通知受信時に起動するプログラムファイルの拡張子が"EXE"、"BAT"以外の拡張子のファイルを指定しました。 ※適切なプログラムファイルを指定してください。

指定のポートはモニタ監視で設定している為警報発報通知監視では使用できません

→モニタ設定されているインターフェースモジュールの通信ポートと警報発報通知監視
 で指定した通信ポートが同一です。
 ※警報発報通知監視設定で別の通信ポートを指定してください。

スケールLOWとスケールHIの設定が同じです

→スケールLOWとスケールHIの値が同じです。
 ※適切なスケール設定をしてください。

スケールの指定が違います(-100000000~10000000)

→スケール値を範囲外の値で設定しました。
 ※10000000~10000000の範囲内で設定してください。

ータ行ー

タイムアウトの設定が違います (45~180秒)

→範囲外のタイムアウトの設定を入力しました。 ※45~180の範囲内で設定してください。

単位入力エラー(半角8文字以内)

→半角8文字より多く入力しました。
 ※半角8文字以内で入力してください。

単位を追加登録しますか

→単位を任意にチェックを入れ、単位を設定した場合に表示します。 ※追加登録する場合は『OK』を押してください。

月指定エラー

→範囲外の自動削除月を入力しました。
 ※1~12の範囲内で入力してください。

定格値の指定が違います

→範囲外の定格値を入力しました。 ※各定格値の範囲内で設定してください。

デジタルはこれ以上表示することができません

→ 監視モニタにてデジタルグラフを11個以上表示しようとした時に表示します。
 ※ デジタルグラフは10個までしか表示できません。

ーナ行ー

ニューロンIDエラー

ーハ行ー

バーグラフはこれ以上表示することができません

→ 監視モニタにてグラフを30個以上表示しようとした時に表示します。 ※グラフは30個までしか表示できません。

日付指定エラー

→範囲外の自動削除日を入力しました。※正しい日付で入力してください。

表示時間の指定が違います

→範囲外の表示時間を指定しました。
 ※0~99分の範囲内で設定してください。

ポートオープンエラー

→通信ポートのオープンに失敗しました。※他プログラムがポートを使用していないか確認してください。

ーマ行ー

未使用に設定されている CH は設定できません

→モニタ設定画面で灰色に表示されているチャンネルを監視設定しようとした時に 表示します。

メーターはこれ以上表示することができません

→ 監視モニタにてグラフを30個以上表示しようとした時に表示します。

※ グラフは30個までしか表示できません。

モジュールNoエラー

→範囲外のモジュールNoを入力しました。
 ※1~126の範囲内で入力してください。

モジュール通信エラー

→モジュールとの通信で通信異常が発生しました。
※通信ケーブルの接続を確認してください。
※ボーレート、サムチェック、パリティチェックの設定が本プログラムと インターフェースモジュールで一致しているか確認してください。

モジュール登録情報が削除されています、モニタ監視情報、グラフ情報を削除します

→モジュール登録情報が削除されています。 ※モニタ設定、グラフ設定、蓄積ファイルを削除します。

モジュール名称が変更されています、設定を更新します

→モジュール名称が変更されています。 ※モニタ設定、グラフ設定、蓄積ファイル名称を変更します。

モニタ設定を削除します

→モニタ設定、グラフ設定、蓄積ファイルを削除します。

モニタ設定を変更します

→モニタ設定、グラフ設定、蓄積ファイル名称を変更します。

モニタするモジュールを選択してください

→モニタ設定画面でモニタするモジュールが選択してません。 ※モニタリストからモニタするモジュールを選択してください。 モニタを停止します

→監視モニタ中に簡易モニタ画面、又はモニタ設定画面を表示しようとしました。
 ※簡易モニタ画面、モニタ設定画面は監視モニタを行いながら表示できません。
 モニタを停止して表示します。

モニタを停止してください

→設定画面でモニタ中に画面終了しようとしました。※モニタを停止してから画面終了してください。

ーラ行ー

列の指定が違います(1~6)

→列を範囲外の値で設定しました。
 ※ 1~6の範囲内で設定し直してください。

リトライの設定が違います(0~5回)

→範囲外のリトライの設定を入力しました。 ※0~5の範囲内で設定してください。

ログをクリアしますか。

→メニューからログクリアを指定した時に表示します。※ログファイルをクリアしても良い場合は『OK』をクリックしてください。

付録1. 高調波次数、高調波相/高調波相間情報の表示内容について

モニタ画面で表示される、高調波次数、高調波相/高調波相間情報について説明します。

🚯 E.:	夕設定								×
インタ	-フェース!	リスト 👿	IM	モニタ 開き	16	停止	モニタリスト	WKM-PX 💌]
監視	監視No	行一列	モジュール種別 モジュール名	データ名	相線	入力定格	1次側定格	スケールLOW	
			高調波電力マルチメーター(三相3線)@ 高調波5次最大相/最大相間 WKM-PX	A:R相電流	三3	5	5	0.00	
			•	A:S相電流		5	5	0.00	-
				A:T相電流		5	5	0.00	
				A:R-S電圧		110	110	0.00	_
				A:T-R雷圧		110	110	0.00	-
			Ū	A:有効電力		-	-	0.00	
				A:無効電力		-	-	0.00	
				A:力率 A:国际曲题		-	-	0.00	
				A:)周波致 A:右効雷力量		-	-	45.00	-
				A:無効電力量		-	-	1.000	
				A:R相電流最大		5	5	0.00	
				A:S相電流最大		5	5	0.00	_
				A:右効雷力最大		-	-	0.00	-
				B:R相電流最大	<u>=</u> 3	5	110	0.00	
				B:S相電流最大		5	110	0.00	
				B:1相電流最大 D:D S電圧暴士		5	110	0.00	-
<u> </u>				B:S-T雷圧最大		110	110	0.00	
				B:T-R電圧最大		110	110	0.00	-
•									۱
	-	→括削除	1	画面終了				OK	
		101111-00						OK	
		1011 164	_					OK	
👩 E:	.夕設定	1011144	_						
<mark>の</mark> モニ インタ・	タ設定 -フェース!	ノスト 🔍	I M	<u>- 世田田</u> 県、) モニタ 開り	16	停止	モニタリスト	WKM-PX -	2
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<mark>タ設定</mark> -フェース! 監視No	Jスト [W. 行-列	M • モジュール種別 モジュール名	モニタ 開り データ名	培 相線	停止入力定格	モニタリスト 1次側定格	WKM-PX ・ スケールLOW	[]
<mark>の モニ</mark> インタ・ 監視	<mark>タ設定</mark> -フェース! 監視No	ノスト 👿	M モジュール種別 モジュール名	モニタ 開 データ名 D無効電力量(送電・進み)	と 目線	停止入力定格	モニタリスト 1次側定格	WKM-PX ・ スケールLOW 1.000	
<mark>の モニ</mark> インタ・ 監視	<mark>夕読定</mark> -フェース! 監視No	ノスト 🕅	M モジュール種別 モジュール名	モニタ 開 データ名 D無効電力量(送電・進み) EデマンドP相電流 デニク	造 相線 三3	停止 入力定格 55	モニタリスト 1次側定格 	WKM-PX スケールLOW 1.000 0	
① モニ インタ・ 監視	タ設定 -フェース! 監視No	リスト 🕅	M マ モジュール種別 モジュール名	モニタ 開 データ名 D 無効電力量(送電・進み) E デマンドP相電流 E デマンドP相電流 ドデマンドP相電流 ドデマンドP相電流	造 相線 三3	停止 入力定格 	モニタリスト 1次側定格 - ***	WKM-PX ▼ スケールLOW 1.000 0.00 0.00	
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<mark>ク設定</mark> ーフェース! 監視No	JJスト []] 行-列	M マ モジュール種別 モジュール名	モニタ 開ま データ名 D無効電力量(送電・進み) EデマンドR相電流 EデマンドT相電流 EデマンドT相電流 EデマンドT相電流 EデマンドT相電流	培 相線 三3	停止 入力定格 	モニタリスト 1次側定格 - ***	WKM-PX ▼ スケールLOW 1.000 0.00 0.00 0.00	
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<mark>ク読定</mark> -フェース! 監視No	JJスト	M マ モジュール種別 モジュール名	モニタ 開ま データ名 D無効電力量(送電・進み) EデマンドP相電流 EデマンドT相電流 EデマンドT相電流 EデマンドT相電流 EデマンドT相電流 EデマンドT相電流 EデマンドT相電流	店 相線 三3	停止 入力定格 	モニタリスト 1次側定格 - ***	WKM-PX ▼ スケールLOW 1.000 0.00 0.00 0.00 0.00	
<mark>録 モニ</mark> インタ・ 監視	<mark>ク読定</mark> -フェース! 監視No	リスト 🗰	M マ モジュール種別 モジュール名	モニタ 開ま データ名 D無効電力量(送電・進み) EデマンドR相電流 EデマンドR相電流 EデマンドR相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大	店 相線 三3	停止 入力定格 	モニタリスト 1次側定格 - ***	WKM-PX ▼ スケールLOW 1.000 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	
また、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<mark>ク設定</mark> -フェース! 監視No	リスト 🕅	M モジュール種別 モジュール名 1	モニタ 開 データ名 D無効電力量(送電:進み) EデマンドR相電流 EデマンドR相電流 EデマンドR相電流最大 EデマンドR相電流最大 EデマンドR相電流最大 EデマンドR相電流最大 Eデマンド昭和電流最大	<u>格</u> 相線 三3	停止 入力定格 	モニタリスト 1次側定格 - ***	WKM-PX ▼ スケールLOW 1.000 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00	
■ モニ インタ・ 監視	<mark>ク設定</mark> -フェース! 監視No	リスト 🕅 行-列	M モジュール種別 モジュール名 ① 最大相/最大相間	モニタ 開 データ名 データ名 ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンド和電流最大 ビデマンド相電流最大 ビデマンド和電流最大 ビデマンド電力最大 ド総合高調波電流	<u>格</u> 相線 三3 三3	停止 入力定格 	モニタリスト 1)次側定格 - *** - - - - - - - -	WKM-PX ▼ スケールLOW 1.000 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	
■ モニ インタ・ 監視	<mark>ク設定</mark> -フェース! 監視No	リスト 🕅 行-列	M モジュール種別 モジュール名 ① 最大相/最大相間 最大相/最大相間	モニタ 開ま データ名 D無幼電力量(送電・進み) EデマンドP和電流 EデマンドP和電流 EデマンドP和電流最大 EデマンドP和電流最大 EデマンドP和電流最大 EデマンドP和電流最大 EデマンドP和電流最大 EデマンドP和電流最大 EデマンドP和電流最大 EデマンドP和電流最大 EデマンドP和電流最大 EデマンドP和電流系型 F総合高調波電流	店 相線 三3 三3	停止 入力定格 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	モニタリスト 1次側定格 - *** - - *** - - ***	WKM-PX ▼ スケールLOW 1.000 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.	
① モニ インタ・ 監視	<mark>ク設定</mark> -フェース! 監視No	ノスト 🕅	M モジュール種別 モジュール名 ① ↓ 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日 日日	モニタ 開 データ名 アニタ名 アニタ名 アニタ名 ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンド和電流最大 ビデマンド和電流最大 ビデマンド和電流和 ボーン	he 「 相線 三3 三3	停止 入力定格 	モニタリスト 1次側定格 - *** - - ***	WKM-PX ✓ スケールLOW 1.000 0.	
■ インタ 監視	<mark>ク 読定</mark> - フェース! 監視 No	1スト 🕅	M モジュール種別 モジュール名 ① し 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 日 長大相/最大相間 日 5公最大相/最大相間	モニタ 開 データ名 データ名 デデンドR相電流 デマンドR相電流 デマンドR相電流 デマンドR相電流 デマンド和電流 デマンド和電流 デマンド和電流 デマンドS相電流 たデマンドS相電流 大 デマンドT相電流 大 デマンドT相電流 大 デ 松合高調波電流 天 彩金高調波電流 天 彩金高調波電流 天 彩金高調波電流	<u>格</u>	停止 入力定格 	モニタリスト 1次側定格 - *** - - *** - - - ***		
■ インタ・	<mark>ク設定</mark> -フェース! 監視No	1スト 🕅	M モジュール種別 モジュール名 ① ↓ 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間	モニタ 開 データ名 データ名 デデンドR相電流 デデンドR相電流 デデンドR相電流 デデンドR相電流 デデンドR相電流 デデンドR相電流 デデンドR相電流 たデマンドR相電流 たデマンドR相電流 たデマンドR相電流 たデマンドR相電流 た赤 た赤 に表 たデマンド和電流 た赤 に表 た赤 に表 たる 高波電流 た赤 に表 た赤 に表 た赤 に表 た たろ に表 た	店 村田線 三3	停止 入力定格 	モニタリスト 1次側定格 - *** - - *** - - - - - - - - - - - -	■ WKM-PX 2ケールLOW 1.000 0.000 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0000 0.000 0.0000 0.0000 0.0000 0.0000 0.0000 0.0000 0.0000 0.00000 0.00000 0.00000 0.00000000	
♣ モニ インタ・	<mark>ク読定</mark> -フェース! 監視No	17.1 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1	M モジュール種別 モジュール名 ① 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間	モニタ 開 : データ名 データ名 アデータ名 アデンドR相電流 デマンドR相電流 デマンドS相電流 デマンドS相電流 デマンドS相電流 デマンドS相電流 デマンドS相電流 大 デネー デ お合高調波電流 水 手 裕合高調波電流 水 手 裕合高調波電流 水 下 裕合高調波電流 水 下 裕合高調波電流 本 下 福润波電流 赤 下 高 市 市 市 市 市 ホ デ	店 村田線 三3	停止 入力定格 - 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	モニタリスト 1次側定格 - *** - - *** - - - - - - - - - - - -	WKM-PX ✓	
■ インタ 監視 - - - - - - - - - - - - -	 −フェース! 監視No	Jスト 「 行-列」	M モジュール種別 モジュール名 ① 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 5/太最大相/最大相間 5/太最大相/最大相間 5/太最大相/最大相間 5/太最大相/最大相間 5/太最大相/最大相間 5/太最大相/最大相間	モニタ 開ま データ名 アータ名 D無効電力量(送電・進み) EデマンドS相電流 EデマンドS相電流 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 FデマンドS相電流最大 FデマンドS和電流最大 Fがら高調波電流至率 F浴高調波電流至率 F浴調波電流至率 F浴調波電流至率 F浴調波電流至率 F浴調波電流至率 F浴調波電流至率 F浴調波電流至率	 市田線 三3 三3 	停止 入力定格 	モニタリスト 1次側定格 - *** - - *** - - - - - - - - - - - -	WKM-PX ✓	
■ インタ	ク う フェース! 監視No	Jスト 「 行 - 列」	M モジュール種別 モジュール名 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 長大相/最大相間 長大相/最大相間	モニタ 開 データ名	 市 市	停止 入力定格 - 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	モニタリスト 1次側定格 - - *** - - - - - - - - - - - - - - -	■ WKM-PX 2ケールLOW 1,000 0,0000 0,0000 0,000 0,000 0,000 0,000 0,000	
♣ モニ インタ・	- フェース! - フェース! 監視 No	Jスト (W. 行 - 列)		モニタ 開ま データ名 アータ名 D.無効電力量(送電・進み) EデマンドR相電流 EデマンドS相電流 EデマンドS相電流 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 FデマンドS相電流最大 FデマンドS相電流最大 F彩台高調波電流至率 F恣調波電流至率 F恣調波電流至率 F恣調波電流至率 F恣調波電流至率 F恣調波電流至率 F恣調波電流至率 F恣調波電流至本 F恣調波電流至本 F恣調波電流至本 F恣調波電流至本 F恣調波電流至本 F恣調波電流至本 G総合高調波電圧至本	ré 相線 三3 三3 三3	停止 入力定格 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	モニタリスト 1)次側定格 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	××××××××××××××××××××××××××××××××××××	
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	タ う テ フェース! 監 観 No	Jスト (W) 行 - 列」	M モジュール種別 モジュール名 ① し 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 長大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 長大相/最大相間 最大相/最大相間 長大相/最大相間 日 大和/最大相間 日 日 二 一	モニタ 開ま データ名 アニタ名 D.無効電力量(逆電・進み) EデマンドR相電流 EデマンドS相電流 EデマンドS相電流 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 EデマンドS相電流最大 Fボ合高調波電流 Fボ合高調波電流 手希調波電流 手希調波電流 手高調波電流 基本 F高調波電流 基本 F高調波電流 基本 F高調波電流 基本 F高調波電流 基本 F高調波電流 基本 F高調波電流 基本 F高調波電流 基本 F高調波電流 基本 F高調波電流 基本 F高調波電流 基本 F 高調波電流 基本 F 高調波電流 基本 F 高調波電流 基本 F 高調波電流 基本 F 高調波電流 基本 F 高調波電流 基本 F 高調波電流 王平 F 和 電流 長大 F 彩 合 高調波電流 王平 F 彩 合 高調波電流 王平 F 高調波電流 王平 F F の 「 、 F で 、 F で 、 F 、 F 、 F 、 F 、 F 、 F F で 、 F F で 下 F 下 下 F 本 下 下 下 本 下 本 下 本 下 本 下 本 下 下 下 本 下 下 下 本 下 本 下 本 下 本 下 本 下 本 下 本 下 本 下 本 下 本 下 本 下 本 下 二 平 長 大 F 高調波電 本 王平 F 高調波電 本 王平 F 高調波電 本 王平 F 高調波電 本 王平 F 高調波電 本 王平 F 高調波電 本 天 下 下 「 「 一 下 平 長 大 下 一 二 平 「 一 二 平 長 大 「 一 高 二 王平 「 一 「 本 二 平 「 一 〇 本 二 平 一 一 〇 本 二 本 本 二 二 平 一 「 〇 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本 本	ré 相線 三3 三3 三3	停止 入力定格 	モニタリスト 1)次側定格 - - *** - - - - - - - - - - - - - - -	××××××××××××××××××××××××××××××××××××	
	タ う フェース! 監視No	リスト [弧] 行 - 列	Imm Imm 王ジュール種別 王ジュール名 1 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 長大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 5次最大相/最大相間 長大相/最大相間 長大相/最大相間 5次最大相/最大相間 長大相/最大相間 長大相/最/日 5/年日/最大相間 長大相/最/日 5/年日/最大相間 日 5/年日/最大相間 日 5/年日/最大相間 日 5/年日/最小日 日 5/年日 5/年日 5/年日 5/年日 <th>モニタ 開 データ名 データ名 レ無効電力量(逆電・進み) ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンド昭相電流最大 ビデマンド昭和電流最大 ビデマンド昭和電流最大 ビデマンド昭和電流最大 ビデマンド昭和電流最大 デマンド昭和電流最大 ド総合高調波電流量平 F総合高調波電流量平 F総合高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電圧 空楽音楽で変更</th> <th>た</th> <th>停止 入力定格 </th> <th>モニタリスト 1)次側定格 - **** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - - *** - - - *** - - - - - - - - - - - - -</th> <th>××××××××××××××××××××××××××××××××××××</th> <th></th>	モニタ 開 データ名 データ名 レ無効電力量(逆電・進み) ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンド昭相電流最大 ビデマンド昭和電流最大 ビデマンド昭和電流最大 ビデマンド昭和電流最大 ビデマンド昭和電流最大 デマンド昭和電流最大 ド総合高調波電流量平 F総合高調波電流量平 F総合高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電流量平 F心音高調波電圧 空楽音楽で変更	た	停止 入力定格 	モニタリスト 1)次側定格 - **** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - - *** - - - *** - - - - - - - - - - - - -	××××××××××××××××××××××××××××××××××××	
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	タ 読 定 - フェース! 監視 No	リスト 「願」 行 - 列	Image: State of the state	モニタ 開 データ名 データ名 データ名 ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ドネら高調波電流 水電流 下添調波電流 下添調波電流 下添調波電流 下添調波電流 下添調波電流 下添調波電流 正平長大 G総合高調波電圧 G高調波電圧 S	た	停止 入力定格 	モニタリスト 1)次側定格 - **** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - *** - - - *** - - - *** - - - *** - - - *** - - - *** - - - - - - - - - - - - -	××××××××××××××××××××××××××××××××××××	
	-フェース! -フェース! 監視No	リスト 「「「」「」「」「」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」」「」	Image: State of the state	モニタ 開 データ名 データ名 データ名 ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ビデマンドR相電流最大 ドネョ調波電流 水電流 水音調波電流 本	L合 「 相線 三3 三3 三3 三3	停止 入力定格 	モニタリスト 1次側定格 *** 	WKM-PX	
▲ モニ インタ 監視	タ 設 定 - フェース! 監視 No	リスト 「「「」	Image: Constraint of the system 1 1 最大相/最大相間 最大相/最大相間 最大相/最大相間 長大相/最大相間 5/x最大相/最大相間	モニタ 開 データ名 データ名 アデータ名 ビデマンドや相電流 ビデマンドや相電流 ビデマンドや相電流最大 ビデマンドや相電流最大 ビデマンドや相電流最大 ビデマンドや相電流最大 ビデマンドや相電流最大 ビデマンドや相電流最大 ビデマンドや相電流最大 ビデマンドやすの最大 ドネョ調波電流 本語なる高調波電流 本語なる高調波電流 「希調波電流 王季奉奉表大 「希調波電圧 「希調波電圧 「名調波電圧 「名調波電圧 「名調波電圧 「名調波電圧 」を 「名調波電圧 」 「名調波電圧 」を 「名 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」	 相線 三3 三3 三3 	停止 入力定格 	モニタリスト 1次側定格 - - *** - - - *** - - - *** - - - - - - - - - - - - -	WKM-PX	

①モジュール名、モジュール種別欄に高調波次数、高調波相/高調波相間情報を表示します。 高調波次数、高調波相/高調波相間情報は、モジュールの先頭、または高調波要素行に表示 されます。

表示される高調波次数、高調波相/高調波相間情報については、モジュール登録ツール (WRS-NCFT)で設定を行います。

高調波次数、高調波相/高調波相間情報の設定変更については、モジュール登録ツール 取扱説明書を参照してください。

※単相2線の場合、高調波相/高調波相間情報は表示されません。

表示される高調波次数情報

- ・総合(2次~15次)
- ・基本波(1次)
- 3次
- 5次
- 7次
- 9次
- 11次
- 13次
- 15次

表示される高調波相/相間情報(単相3線)

- ·最大相/最大相間
- 1相/1-N間
- 2相/2-N間

表示される高調波相/相間情報(三相3線)

- ·最大相/最大相間
- R相/R-S間
- T相/S-T間

付録2. Windows10ご使用中の起動失敗について

Windows10をご使用中でプログラムの起動に失敗する場合、下記設定値をご確認下さい。

スタートメニュー横の検索バーをクリックし「regedit」と入力します。 表示される「レジストリ エディター」をクリックします。

	すべて	アプリ	ドキュメント	設定	写真	ウェブ	その他 🔻		フィードバック	
	最も一致する	5.検索結果	Ł							
	1 マブ	ストリ エ ラ リ	ディター				rg Ø	Dプレビューは現在利用す	できません。	
	Webの検索 ク reged	iit - Web ł	結果を見る		3		□ 開く □ 管理者と1 □ ファイルの3 -□ スタートに2 -□ タスクパー	レジストリ エディタ アブリ して実行 場所を聞く とン留めする にどン留めする	_	
スタート										
-		lit				C) di (0 📃 🕯 🖻		

表示されたレジストリエディター画面で、下記階層まで移動します。

[HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥N1s¥Sorting¥Versions]



「値のデータ」テキスト欄に表示された値が「00060305」となっている場合、 「0006020f」に変更し、「OK」をクリックします。

文字列の編集			×
値の名前(N):			
(既定)			
値のデータ(V):)		
00060305	J		
		OK	キャンセル
	Ł		
文字列の編集			×
値の名前(N):			
(既定)			
<u>値のデータ(V):</u>			
0006020f			
		ОК	キャンセル

渡辺電機工業株式会社

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6丁目16番地19号
 電話03(3400)6141(代表) FAX 03(3409)3156
 ホームページ http://www.watanabe-electric.co.jp
 (JR 原宿駅/東京メトロ千代田線明治神宮前駅下車)